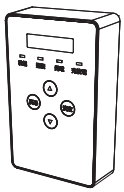
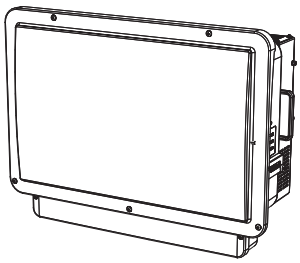
お客様用

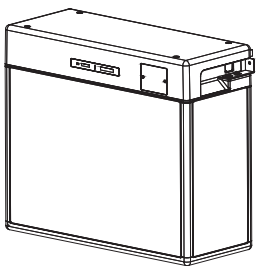
住・産共用フレキシブル蓄電システム
取扱説明書



蓄電システム用ゲートウェイ
（KP-GWBT-A）



パワーコンディショナ
（KPAC-B25/KPAC-B25-S）



蓄電池ユニット
（KP-BU42-A）

はじめに

ご使用前の準備

システムの運転

設定

その他

このたびは、住・産共用フレキシブル蓄電システムをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
この取扱説明書では、住・産共用フレキシブル蓄電システムの機能および使用方法について解説します。
はじめにこの取扱説明書をよくお読みになり、十分にご理解のうえ、
正しくご使用ください。

工事店様からの引き渡し時に、停電時に使用できる電気製品（およびコンセント）をご確認ください。

施工の方へ
　施工については「施工マニュアル」（2874556-1）をご覧ください。

品番 2874555-3 C

日本国内専用品
Use only in Japan

目次

はじめに

安全上のご注意 4
- システム共通 4
- パワーコンディショナ 6
- 蓄電池ユニット 8
- ゲートウェイ 10

必ずお読みください 11

システムの構成機器と同梱品の確認 12

本システムについて 13
- システムの特長 13
- システム構成と各機器の働き 14

各部の名前と働き 16

連系運転と自立運転について 19
- 連系運転について 19
- 自立運転について 23

ゲートウェイの基本操作 25

ご使用前の準備

ネットワーク接続とサーバとの通信確認を行う 27
- ネットワーク接続とサーバとの通信確認の目的 27
- 1. ネットワークに接続する 28
- 2. ソフト更新サーバとの通信確認をする 28
- 3. 遠隔モニタサーバとの通信確認をする 29
- 4. お客様の端末から遠隔モニタリングサービスの WEB サイトにアクセスする 29
- 5.HEMS を有効にする（HEMS コントローラ使用時のみ） 30

システムの運転

システムの運転の切り替え 31
- 停電時（自立運転への自動切り替え） 31
- 復電時（連系運転への自動切り替え） 33
- 運転 / 停止の手動切り替え 34

設定

ユーザ設定メニューの使い方 35
蓄電設定の変更のしかた（チクデン）..... 37
LAN 設定の確認・変更のしかた（LAN）..... 45
通信サービス設定の変更のしかた（ツウシンサービス）..... 47
日時設定の変更のしかた（ジコク）..... 48

その他

日常点検とお手入れ 49
蓄電池診断について 50
故障かな！？と思ったら 51
異常が発生したら… 54
ゲートウェイを再起動する 61
特定負荷用分電盤を使用しないシステムについて 62
仕様 65
ソフトウェアのライセンス情報 66
保証とアフターサービスについて ..... 裏表紙

安全上のご注意

誤った取り扱いをしたときに生じる危害や損害を、次のように区分して説明しています。

警告	正しい取り扱いをしなければ、この危険のために、軽傷・中程度の傷害を負ったり、万一の場合には重傷や死亡に至るおそれがあります。
注意	正しい取り扱いをしなければ、この危険のために、ときに軽傷・中程度の傷害を負ったり、あるいは物的損害※を受けるおそれがあります。

※ 物的損害とは、製品の故障、誤動作などでお客様の設備や財物に損害を与えることを示します。

お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

 ●一般的な禁止 特定しない一般的な禁止の通告	 ●感電注意 特定の条件において、感電の可能性を注意する通告
 ●一般的な指示 特定しない一般的な使用者の行為を指示する表示	 ●高温注意 特定の条件において、高温による傷害の可能性を注意する通告
 ●必ずアース線を接続する 安全アース端子付きの機器の場合、使用者に必ずアース線を接続して接地をとるように指示する表示	

システム共通

警告
感電、発煙、発火、火災、けが、機能障害のおそれあり
 ■ 分解、改造をしないでください。 ■ ぬれた手で触ったり、ぬれた布でふいたりしないでください。 ■ カバーを開けたり、内部を手で触れたりしないでください。 ■ 雷が鳴っているときは、製品本体やケーブルに触れないでください。 ■ 湯気、水蒸気、冷気、油煙、腐食性ガスを出す機器をシステムの各機器の付近に置かないでください。 ■ 特定負荷用コンセントと家庭内の一般負荷用コンセント、もしくは特定負荷用コンセント同士を延長ケーブル等で接続しないでください。

（システム共通）

警告

感電、発煙、発火、火災、けが、機能障害のおそれあり

■ 以下のような場合、お買い上げの販売店に連絡してください。

– 修理、増設、移設を行うとき

– 冠水、冠雪したとき

■ 煙が出たり、変な音やにおい、その他異常を感じた場合、以下を行ってください。

– パワーコンディショナの運転を停止する。

– 蓄電システム用ブレーカを「オフ」にする。

– 自立入力端子に接続される機器の全ブレーカを「オフ」にする。

– 特定負荷用分電盤の全ブレーカを「オフ」にする。

– 主分電盤の特定負荷用分電盤用ブレーカを「オフ」にする。

– 販売店に連絡する。

注意

感電、発煙、発火、火災、けが、機能障害のおそれあり

■ お手入れ時に洗剤や薬品を使用しないでください。

■ システム各機器の近くで以下を行わないでください。

– 可燃性スプレーや殺虫剤の吹き付け

– 燃えやすい物の設置

– 引火性の強い溶剤の使用

– 薬剤の散布

■ 上に乗ったり、ぶら下がったり、物を置いたりしないでください。

■ 製品本体を塗装しないでください。

■ 特定負荷用コンセントの差し込み口には触れないでください

■ 次の機器を特定負荷用コンセントに接続しないでください。※

– すべての医療機器

– 灯油やガスを用いる冷暖房機器やヒータを持つ機器

– デスクトップパソコンなどのバッテリを持たない情報機器

– その他、途中で止まると生命や財産に損害を及ぼす機器

※ 特定負荷用コンセントから供給する電圧は、蓄電池ユニットの電池残量が不足したり、太陽の光が弱くなると低下することがあります。接続に際しては、突然停止しても安全性に問題がない機器であることを確認してください。特定負荷用コンセントの電圧出力が停止した場合、人身傷害や接続した機器の機能障害がまれに起こるおそれがあります。

（システム共通）

安全上の要点

以下に示す項目は、安全を確保する上で必要なことですので必ずお守りください。

- 日常点検とお手入れは必ず行ってください。また地震後は、必ず点検を行ってください。その際、さびの発生など、外観に異常がないか確認してください。
- 廃棄される際は、お買い上げの販売店に依頼してください。
- 高いところに設置された機器を操作する場合は、足場など十分安全を確保して作業してください。

使用上の注意

- 特定負荷用コンセントの定格に合わせAC100Vで20A以下（合計で2.0kVA以下）の機器を接続して使用してください。
- 特定負荷用コンセントには、常時 AC100V が出力されます。

パワーコンディショナ

注意

感電、発煙、発火、火災、けが、機能障害のおそれあり

■ 通電中や電源を切った直後は製品本体に触らないでください。

■ 通風口はふさがないでください。

安全上の要点

以下に示す項目は、安全を確保する上で必要なことですので必ずお守りください。

- 本体から上300mm、下300mm、左150mm、右150mm、前700mm以内※に物を置いたりしないでください。機能低下のおそれがあります。

※ 指定の距離以上のスペースが確保された状態であっても、発熱物（エアコン室外機など）や子供が容易に上がれる物は置かないでください。

使用上の注意

- ラジオやテレビなど、電波を利用する機器はパワーコンディショナから 3m 以上離してください。電波受信に影響が出るおそれがあります。
- パワーコンディショナの運転時、高速電力線通信（PLC）アダプターを用いたインターネットなどのデータ通信速度が低下するおそれがあります。

（パワーコンディショナ）

【本体への表示内容】

経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために、以下の内容の表示を本体に行っています。

⚠	【設計上の標準使用期間】　15 年 設計上の標準使用期間を超えてお使いいただいた場合は、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

【設計上の標準使用期間とは】

- 以下の標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、使用開始日（連系開始日）から安全上支障なく、使用することができる標準的な期間です。
- 設計上の標準使用期間は、保証期間とは異なります。また、一般的な故障を保証するものでもありません。

■ 標準的な使用条件

		KPAC-B25/KPAC-B25-S
環境条件	定格入力電圧	DC192 V
	定格出力電圧	AC202 V
	定格出力電力	2.5 kW
	使用周囲温度	25 ℃
	設置条件	標準設置（施工マニュアル「2. 設置場所の決定」による）

蓄電池ユニット

警告

感電、発煙、発火、火災、けが、機能障害のおそれあり



■ 異物を差し込まないでください。
■ 故意に水をかけたりぬらしたりしないでください。
■ 水没・浸水した蓄電池ユニットには近づかず、触れないでください。
■ 液漏れがある場合は、液体には触れないでください。液体が目や皮膚に付着したときは、すぐに大量のきれいな水で洗い流し、医師の診断を受けてください。
■ 強い衝撃を与えないでください。
■ ストーブ等の発熱物を蓄電池ユニットに向けないでください。
ストーブ等の発熱物とは、2m 以上離してください。
■ DC ブレーカカバーは、取り外さないでください。
DC ブレーカカバーを取り外す場合は、販売店に相談のうえ、指示に従って DC ブレーカカバーを取り外してください。



■ 間違った形式の電池と交換しないでください。爆発の危険性があります。

注意

感電、発煙、発火、火災、けが、機能障害のおそれあり



■ たばこやお香など、ヤニが発生するものの近くに設置しないでください。

（蓄電池ユニット）

安全上の要点

以下に示す項目は、安全を確保する上で必要なことですので必ずお守りください。

- 蓄電池ユニット本体から以下のところに物を置いたりしないでください。機能低下や寿命低下の恐れがあります。
  - 上：100mm 以上
  - 前：150mm 以上
  - 左：10mm 以上、右：250mm 以上（露出配線時）
  - 左：150mm 以上、右：10mm 以上（隠ぺい配線時）または、左：10mm 以上、右：150mm 以上（隠ぺい配線時）

使用上の注意

- 蓄電池ユニット内に温度差が発生した場合、充放電を抑制することがありますので、蓄電池ユニットに冷暖房器具（床暖房含む）の冷気、または暖気が直接あたらないようにしてください。
- 使用する場合は、次のような点に注意してください。
  - 温度：－ 10 ～+ 40 ℃（ただし、結露および氷結なきこと）
  - 湿度：25 ～ 95 %RH （ただし、結露および氷結なきこと）

【本体への表示内容】

経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために、以下の内容の表示を本体に行っています。

⚠	【設計上の標準使用期間】 15 年 設計上の標準使用期間を超えてお使いいただいた場合は、経年劣化により 液漏れなどの事故に至ったり、規定の性能を満たすことができないおそれがあります。

【設計上の標準使用期間とは】

- 以下の標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、使用開始日（連系開始日）から安全上支障なく、使用することができる標準的な期間です。
- 設計上の標準使用期間は、保証期間とは異なります。また、一般的な故障を保証するものでもありません。

■ 標準的な使用条件

		KP-BU42-A
環境条件	使用周囲温度	25 ℃
	設置条件	標準設置（施工マニュアル「2. 設置場所の決定」による）

■ 消防法上の取り扱い

本蓄電池ユニットで使用している電池セルの電解液は、消防法上「第四類 第二石油類」に該当します。

ゲートウェイ

注意
感電、発煙、発火、火災、けが、機能障害のおそれあり
■ 清掃は、乾燥した柔らかい布で行ってください。 ■ ケースの清掃には、有機溶剤（シンナー、ベンジン等）、強アルカリ性物質、および強酸性物質を使用しないでください。

安全上の要点

以下に示す項目は、安全を確保する上で必要なことですので必ずお守りください。

- ゲートウェイに水などがかからないように注意してください。
- 廃棄については、お買い上げの販売店にご依頼ください。
- ゲートウェイの上に物を置いたり、手でぶら下がったり、物をぶら下げるなどしないでください。脱落し、破損する恐れがあります。
- ボタン操作は必ず指で触れて操作してください。爪やボールペンなど先端の固いものや鋭利なもので操作しないでください。

使用上の注意

- 日時設定を誤った場合、正しく動作しない場合があります。正しく設定してください。
- 契約アンペア設定を誤った場合、契約ブレーカが落ちる可能性があります。正しく設定してください。
- ゲートウェイの金属部に触れる場合は、静電気に注意してください。

機器仕様上の留意事項

- 計算上の誤差（四捨五入）により実績値、換算値の画面ごとの値が同じ値にならない場合があります。

必ずお読みください

◆システム構成について

本製品は、システムの構成により、説明が異なる部分があります。

- 本蓄電システムと太陽光発電システムを併設している場合と本蓄電システム単体で使用している場合で説明が異なる箇所は、下記のアイコンを使って説明を記載しています。
  - システム単体：本蓄電システム単体で使用している場合の説明です。
  - システム併設：本蓄電システムと太陽光発電システムを併設している場合の説明です。

◆本書の記載について

- 本書では下記のように記載しています。
  - 「住・産共用フレキシブル蓄電システム」→「システム」（「蓄電システム」と記載している箇所もあります）
  - 「蓄電システム用ゲートウェイ」→「ゲートウェイ」
  - 「蓄電システム用漏電ブレーカ」→「蓄電システム用ブレーカ」
  - 「太陽光発電用漏電ブレーカ」→「太陽光発電用ブレーカ」
  - 参照いただくページ→「⇨ 00」
- 本書内の製品姿図・イラスト・メニュー画面などはイメージです。実物と多少異なりますが、ご了承ください。

◆商標について

- 「ECHONET Lite」はエコーネットコンソーシアムの商標です。
- 本書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは、各社の商標または登録商標です。

◆ネットワーク接続について

本製品は、インターネットに接続することにより、「ソフトウェア自動更新サービス」と「遠隔モニタリングサービス」をご利用になれます。
ご使用の前にネットワーク接続とサーバとの通信確認を行ってください。（27 ページの「ネットワーク接続とサーバとの通信確認を行う」）

- お買い上げ時には、「ソフトウェア自動更新サービス」および「遠隔モニタリングサービス」は有効に設定されています。

◆HEMS について

HEMS とは、Home Energy Management System の略で、家庭内のエネルギーの見える化やスマート家電などのマネジメントを行うシステムのことです。
ゲートウェイは ECHONET Lite に対応しています。本製品に対応した HEMS コントローラが設置されている場合、HEMS コントローラは蓄電システムの蓄電状況などの情報をネットワーク経由でゲートウェイから取得することができます。

- HEMS については、HEMS コントローラのマニュアルも併せてお読みください。

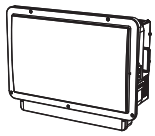
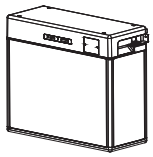
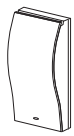
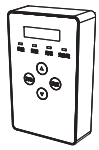
◆免責事項について

- 当社は DDoS 攻撃（分散型 DoS 攻撃）、コンピュータウイルスその他の技術的な有害プログラム、不正アクセスにより、当社商品、インストールされたソフトウェア、またはすべてのコンピュータ機器、コンピュータプログラム、ネットワーク、データベースが感染したとしても、そのことにより直接または間接的に生じた損失、損害その他の費用について一切責任を負わないものとします。
  お客様ご自身にて、（1）アンチウイルス保護、(2) データ入出力、（3）紛失データの復元、（4）当社商品またはインストールされたソフトウェアに対するコンピュータウイルス感染防止、（5）当社商品に対する不正アクセス防止についての十分な措置を講じてください。

システムの構成機器と同梱品の確認

◆システムの構成機器

お使いになる前に設置場所をご確認ください。

□ パワーコンディショナ  （KPAC-B25/KPAC-B25-S）	□ 蓄電池ユニット  （KP-BU42-A）	□ 特定負荷用分電盤※  （KP-DB20B-2）	□ ゲートウェイ  （KP-GWBT-A）

※ 本製品は日東工業株式会社製です。詳細は、特定負荷用分電盤の取扱説明書をご覧ください。

◆同梱品

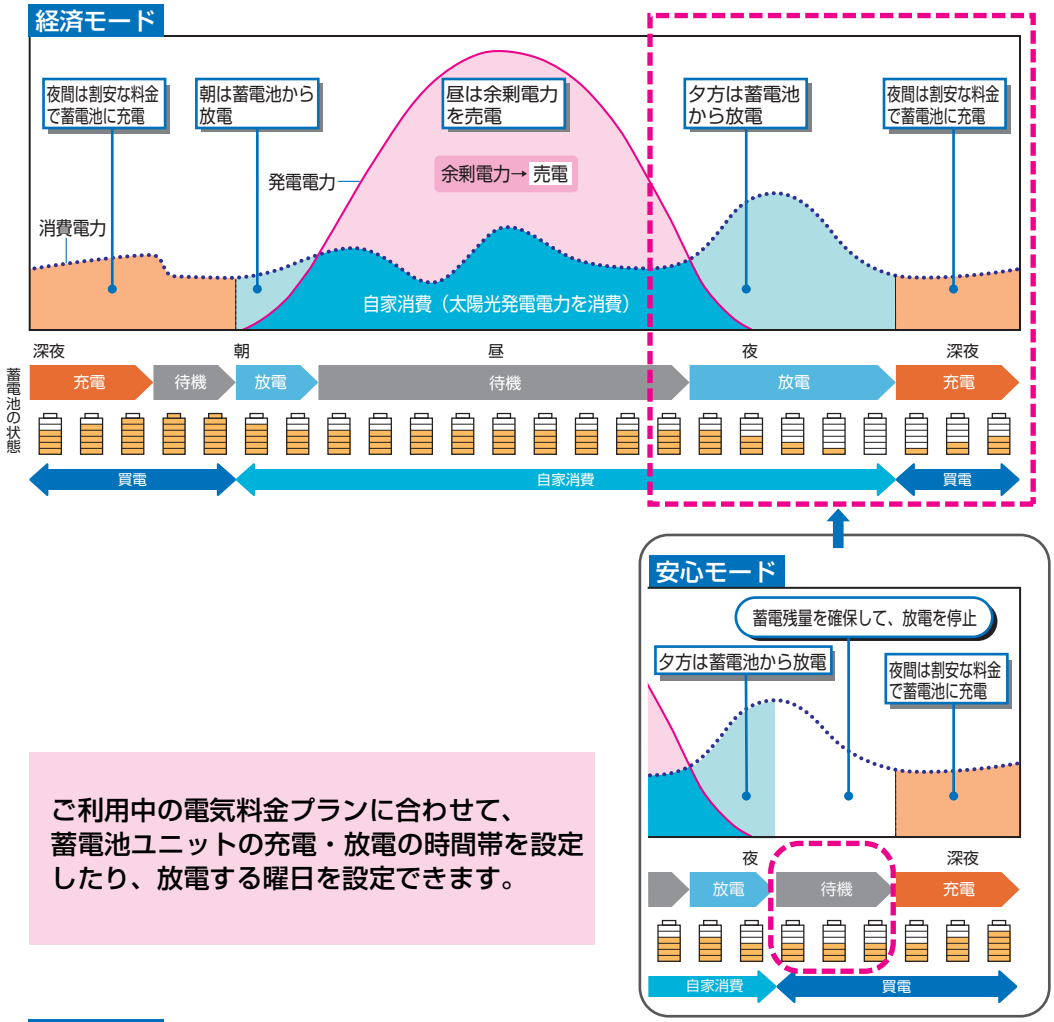
お使いになる前に同梱品がそろっていることをご確認ください。

□ 安全上のご注意 [1 枚]
□ 簡易取扱説明書 [1 枚]
□ 検査成績書
　パワーコンディショナ用 [1 枚]
　蓄電池ユニット用 [1 枚]
□ お客様用「遠隔モニタリングサービス　登録にあたって」/「本製品のサーバ接続機能およびソフトウェア自動更新サービスについて」[1 枚]

本システムについて

システムの特長

本システムは蓄電池に電力を充電し、日常、または非常時にご家庭の電力として使用することができます。
お客様の生活スタイルや環境に合わせて下記の３つの中から、最適な動作モードを選択することができます。
(下記イラストは各蓄電動作モードの動作イメージです。天候や設定などの条件により変わります。)



ご利用中の電気料金プランに合わせて、蓄電池ユニットの充電・放電の時間帯を設定したり、放電する曜日を設定できます。

経済モードは、電気料金の割安な夜間に充電し、電気料金の割高な日中に放電することで電気代を節約するモードです。

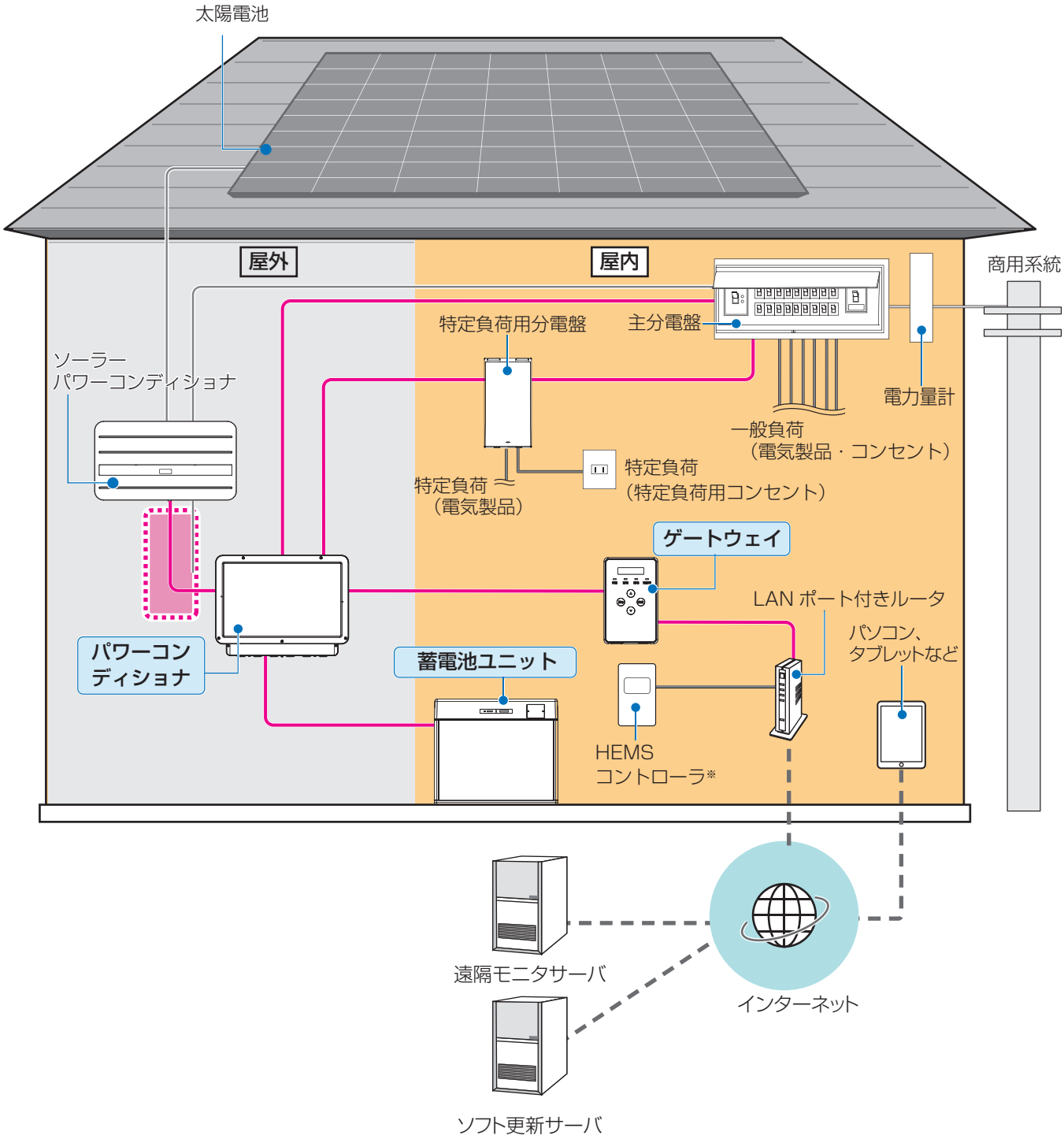
安心モードは、蓄電残量を一定量確保して、緊急時に備えるモードです。

グリーンモードは、太陽光発電システムを併設している場合に、昼間の余剰電力を充電し、その電力を夜間に使用することができるモードです。

- **システム単体**の場合、グリーンモードには設定しないでください。

システム構成と各機器の働き

- 本書では、下記 [　　] の機器の機能および操作方法を説明しています。
- [　　] 部分は、太陽光発電システムを併設する場合のみ配線されています。



※ HEMS については 11 ページをお読みください。

パワーコンディショナ：
蓄電池ユニットの充電･放電および商用系統からの電力、または太陽光発電の発電電力をコントロールし、システム全体の運転を管理します。

- 停電時は、蓄電池ユニットに蓄えた電力および太陽光発電の発電電力を特定負荷用分電盤に送ります。（最大 2000VA）
- 太陽光発電システムからの電力を蓄電池に充電する場合もあります。(最大 1500W)

蓄電池ユニット：
設定した時間帯に充電し、太陽光発電の発電電力が少ない時間帯に放電します。

- 停電時は放電します。太陽光発電の発電電力から充電する場合もあります。

ゲートウェイ：
蓄電システムの運転状況を表示します。
また、システムの運転・停止や設定変更を行います。

特定負荷用分電盤：
通常時は、商用系統からの電力をパワーコンディショナ経由で電気製品やコンセント (特定負荷) に送ります。

- 停電時は、パワーコンディショナからの電力（自立運転出力）を電気製品やコンセント（特定負荷）に送ります。
- 特定負荷への電力経路を「蓄電システム側」と「主分電盤側」に、手動で切り替えることができます。

ソーラーパワーコンディショナ：
太陽光発電の発電電力をご家庭などで使える交流電力に変換します。

- 停電時は、太陽光発電の発電電力を蓄電システムのパワーコンディショナに送ります。

主分電盤：
通常時（連系運転中）は、商用系統やパワーコンディショナからの電力を、電気製品やコンセント（一般負荷）に送ります。また、蓄電池ユニットの充電時には、商用系統からの電力をパワーコンディショナに送ります。

- 停電時は電力供給が停止し、接続している電気製品やコンセントは使用できません。
- 主幹漏電ブレーカは主分電盤の中にあります。
- 蓄電システム用ブレーカと太陽光発電用ブレーカは主分電盤の中または主分電盤の付近にあります。

商用系統：
電力会社から供給される電力の通り道です。

LAN ポート付きルータ：
本システムをルータ経由でインターネットに接続することで、ソフトウェアを自動更新したり、パソコンやタブレット端末からシステムを操作することができます。

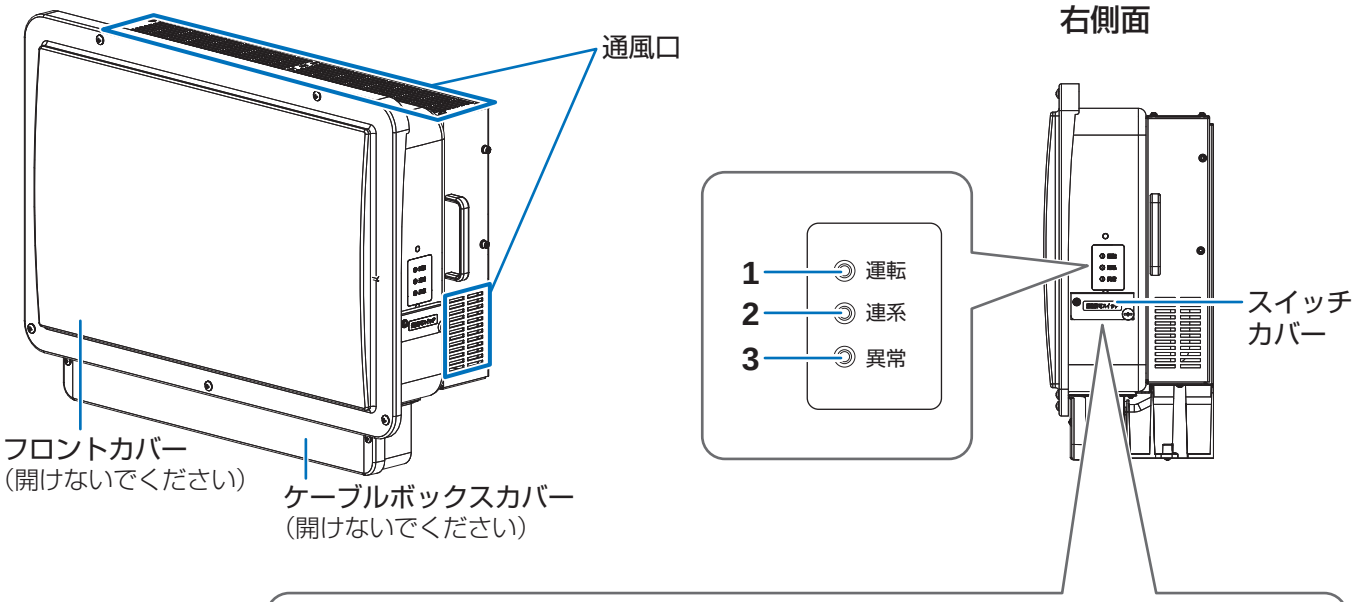
HEMS コントローラ：
本システムの蓄電状況などの情報をネットワーク経由でゲートウェイから取得します。

パソコン、タブレット端末：
遠隔モニタリングサービスを利用すれば、端末から本システムを操作し、運転状況を確認したり設定を変更することができます。遠隔モニタリングサービスを利用するには、ユーザ登録が必要です。詳しくは 27 ページをお読みください。

遠隔モニタサーバ：
遠隔モニタリングサービスを利用する場合にアクセスし、本システムを登録します。

各部の名前と働き

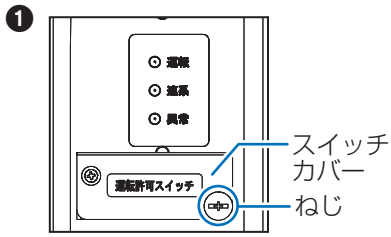
パワーコンディショナ



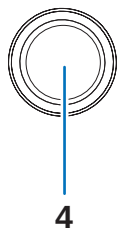
スイッチカバーの開け方

スイッチカバーのねじを緩め、スイッチカバーを回転させて開けてください。

- ねじが固い場合はコインまたはドライバーをお使いください。



スイッチカバー内部



- スイッチカバーは異物を挟まないように閉めてください。
- スイッチ操作時以外は必ずスイッチカバーを閉めた状態にしてください。

1 運転ランプ（青）
連系運転中または自立運転中に点灯します。
- 運転停止中、運転再開中、充放電停止中は点滅します。
- パワーコンディショナへ電源が供給されていない状態では消灯します。

2 連系ランプ（緑）
連系運転中に点灯します。

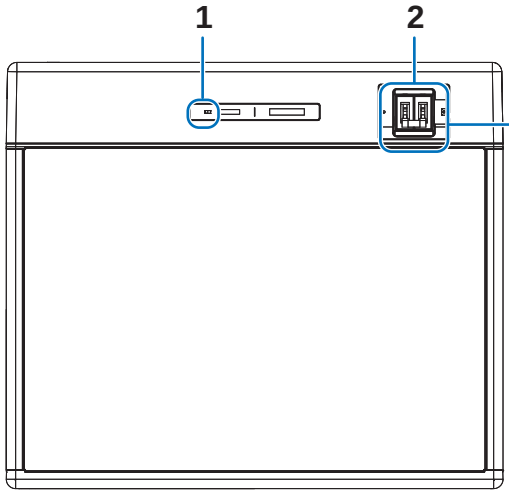
3 異常ランプ（赤）
異常発生時に点灯または点滅します。
- 点灯：故障時
- 点滅：系統や機器（パワーコンディショナ、蓄電池ユニット）の異常時

4 運転許可スイッチ
運転許可スイッチを「オン」にすると、パワーコンディショナは運転待機状態になります。ゲートウェイを操作するとシステムは運転を開始します。

：運転許可スイッチ「オン」状態
：運転許可スイッチ「オフ」状態

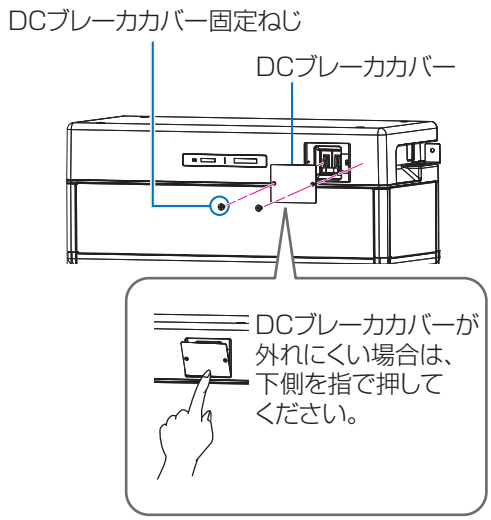
- 「オフ」状態ではシステムは運転できません。

蓄電池ユニット



【DCブレーカカバーの取り外し方】

ドライバーでDCブレーカカバー固定ねじを外してDCブレーカカバーを取り外す



DCブレーカカバーを取り外す場合は、販売店に相談のうえ、指示に従って操作をおこなってください。

1 状態表示ランプ

蓄電池ユニットの運転状態、異常発生を表示します。

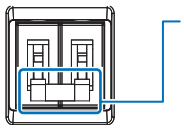
- 緑点灯：運転中 / 運転停止中
- 緑点滅：パワーセーブモード※中
- 赤点灯：異常が発生し運転できない状態
- 赤点滅：自動復旧が可能な異常や電池の劣化
- 消灯　：蓄電池ユニット制御用の電源が供給されていない状態

※ パワーセーブモードとは停電時に消費電力を抑えるモードです。

2 DC ブレーカ

異常発生時などにブレーカをオフにして、電力の入出力を遮断します。

DC ブレーカカバーを取り外して操作します。

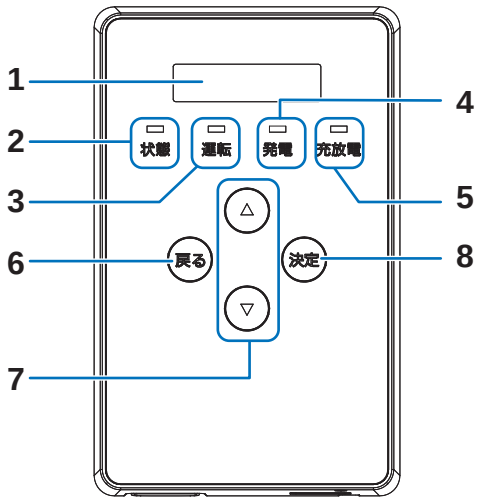


レバーの上下で DC ブレーカの「オン」「オフ」を切り替えます。

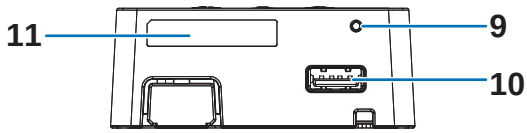
- レバーの位置上側：「オン」
- レバーの位置下側：「オフ」

ゲートウェイ

（正面図）



（底面図）



1 表示部
発電電力やエラーコード、接続されているパワーコンディショナの運転状態などを表示します。
- 10 分間操作をしないと消灯します。いずれかのボタンを押すと点灯します。

2 状態ランプ
システムの状態を表示します。
–緑色点灯：正常運転
–緑色点滅：ゲートウェイが起動中です。
–赤色点灯 / 点滅：異常発生
–消灯：ゲートウェイに電源が供給されていない状態

3 運転ランプ
パワーコンディショナの運転状態を表示します。
–緑色点灯：パワーコンディショナが連系運転中
–緑色点滅：パワーコンディショナが手動復帰待ちの状態
–橙色点灯：パワーコンディショナが自立運転中
–消灯：パワーコンディショナが運転停止中

4 発電ランプ
使用しません。

5 充放電ランプ
蓄電池ユニットの運転状態を表示します。
–緑色点灯：放電
–橙色点灯：充電
–消灯：充放電なし

6 戻るボタン
ひとつ前の画面に戻ります。

7 ▲ / ▼ボタン
表示中の項目の選択に使用します。

8 決定ボタン
表示中の項目の決定に使用します。

9 リセットスイッチ
ペン先等で押してゲートウェイを再起動します。

10 USB コネクタ（Type A）
ソフトウェアの手動更新、メンテナンスデータ出力、出力制御の固定スケジュールの転送などで USB メモリを挿し込みます。
- 使用できる USB メモリ
  256MB ～ 32GB、USB2.0 準拠、
  FAT16/FAT32 形式でフォーマット済み
  （セキュリティ機能搭載の USB メモリは使用できません）

11 ID ラベル
製造番号、ゲートウェイ ID が記載されています。

連系運転と自立運転について

本システムには、連系運転と自立運転という 2 つの運転モードがあります。それぞれの運転モードと電力の供給の体系については以下をお読みください。

連系運転について

通常時の運転モードです。電気料金の安い深夜時間帯に充電し、ご家庭の消費電力や太陽光発電の発電電力（システム併設のみ）に合わせて、放電します。本システムはシステム構成や目的に合った蓄電動作モード（下記）を選ぶことで、効率的に電力の充放電を行うことができます。

- 連系運転中は消費電力や太陽光発電の発電電力（システム併設のみ）に合わせて、自動で充電と放電が切り替わります。
- 連系運転を停止させると (⇨ 34)、充電・放電を停止します。
- 蓄電池ユニットに貯めた電力は、ご家庭の消費電力に合わせて放電します。売電はしません。

蓄電動作モードについて

蓄電動作モードは、システム構成や目的に合わせて、通常下記の３種類※1 から選ぶことができます。

経済モード	経済的なメリットを優先させるモードです。電気料金の安い深夜時間帯に蓄電残量が 100% になるまで充電し、蓄電残量を0%※2 まで使用できます。(充電した電力をすべて使うことができます。)
安心モード	停電時に使用できる蓄電残量を優先させるモードです。電気料金の安い深夜時間帯に蓄電残量が 100% になるまで充電し、充電した電力は 50%※2 まで使用することができます。残りの電力は停電に備えて残しておきます。
グリーンモード	太陽光発電システムを併設している場合に、太陽光発電の余剰電力を充電することができるモードです。蓄電残量を0%※2 まで使用できます。(充電した電力をすべて使うことができます。) システム単体では、グリーンモードにしても効果がありませんので、設定しないでください。 ● 電気料金の安い深夜時間帯にも最大 100%まで充電することができます。(⇨ 40)

※ 1. 非常時のモードとして強制充電 / 強制放電 / 待機を選ぶことができますが、通常は使用しません。(⇨ 37)

※ 2. 設定は変更できます。(⇨ 39)

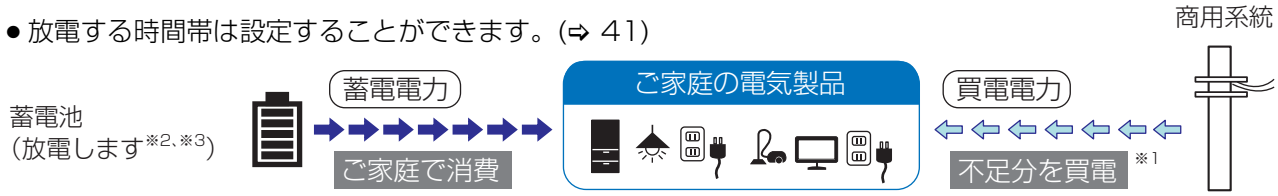
● 蓄電池の動作モードについて詳しくは 37 ページをお読みください。

連系運転時の電力供給の切り替わりについて システム単体

連系運転中は下記イメージ図 Ⓐ ～ Ⓒ のような電力供給の状態に自動的に切り替わります。（経済モード・安心モードに設定している場合の動作です。）

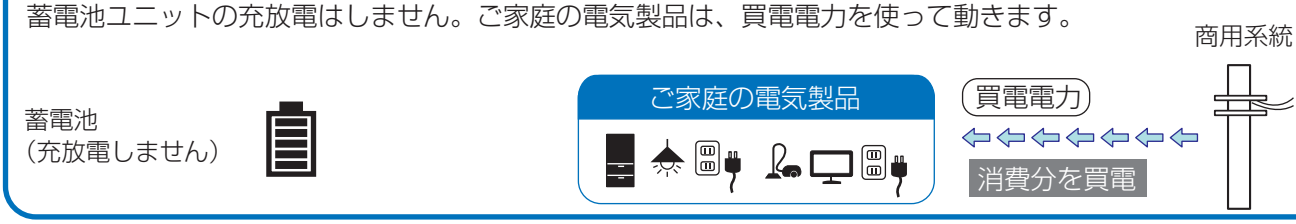
Ⓐ 放電時間帯

蓄電電力、および買電電力がご家庭の電気製品に供給されます。
蓄電電力で不足する電力を電力会社から買います。（買電）
- 放電する時間帯は設定することができます。(⇨ 41)



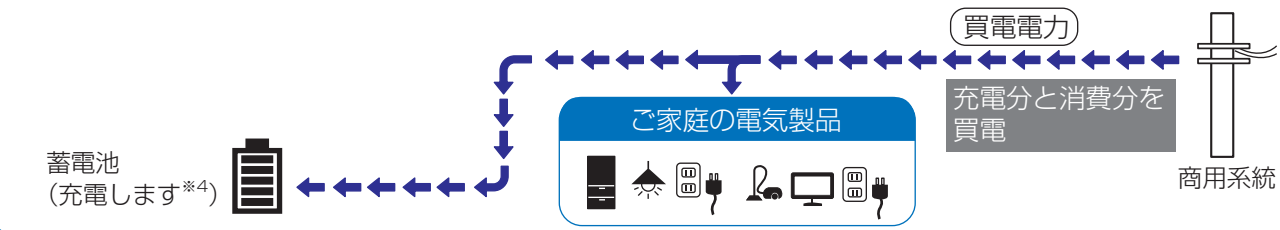
Ⓑ 放電時間帯にも充電時間帯にも設定していない時間帯

蓄電池ユニットの充放電はしません。ご家庭の電気製品は、買電電力を使って動きます。



Ⓒ 充電時間帯

ご家庭の電気製品は、買電電力を使って動きます。また、料金の安い深夜電力を蓄電池ユニットに充電します。
- 充電する時間帯は設定することができます。(⇨ 41)
- お客様の環境や電力の消費状態によっては、満充電まで充電できない場合があります。



※ 1. 不足していない場合でも、商用系統に逆流しないように約 0.1kW を買電します。
※ 2. 最大 2.5kW で放電します。
※ 3. 充電時間帯、及び放電時間帯の設定によっては、放電しない場合があります。また、放電曜日設定で「放電しない」に設定されている日は放電しません。
※ 4. 最大 2.5kW で充電します。満充電に近づくにつれて、充電電力が抑制されます。

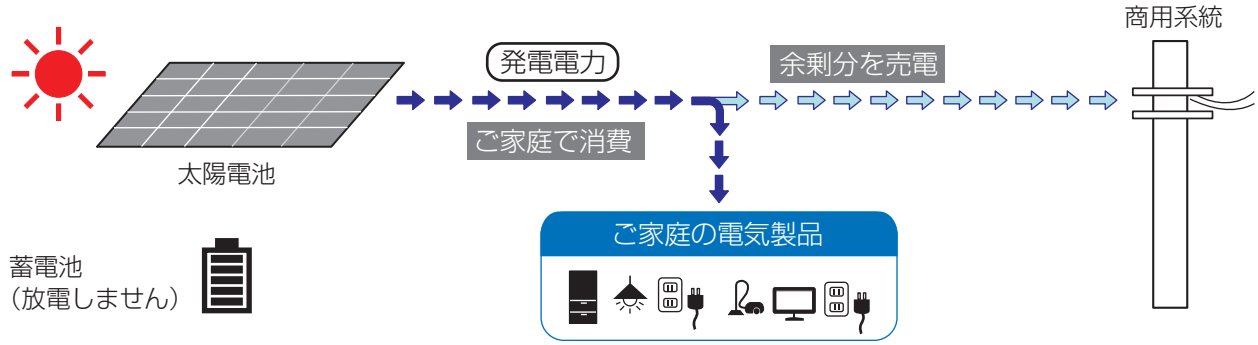
連系運転時の電力供給状態の切り替わりについて システム併設

連系運転中は下記イメージ図 Ⓐ ～ Ⓓ のような電力供給の状態に自動的に切り替わります。

Ⓐ「太陽光発電の発電電力」＞「ご家庭の消費電力」の場合（晴天時の昼間など）

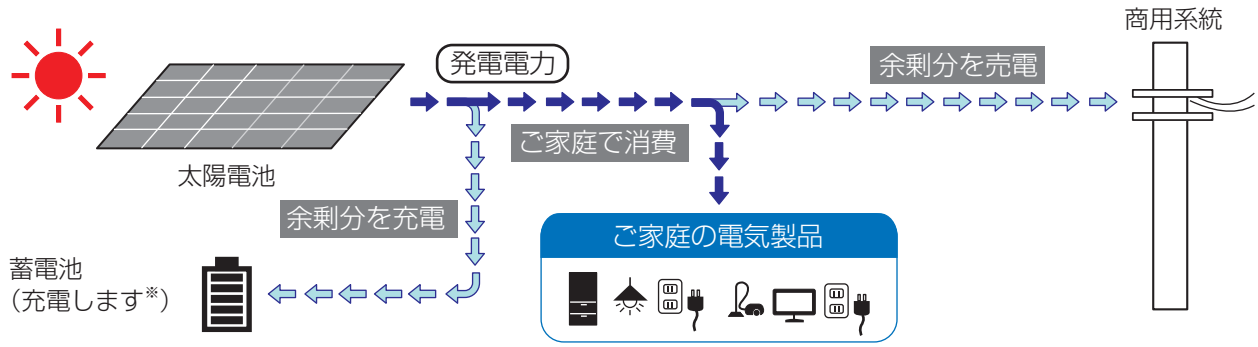
◆蓄電動作モードを経済モード / 安心モードに設定している場合

ご家庭の電気製品は、太陽光発電の発電電力を使って動きます。余った発電電力は電力会社に売ります。（売電）



◆蓄電動作モードをグリーンモードに設定している場合

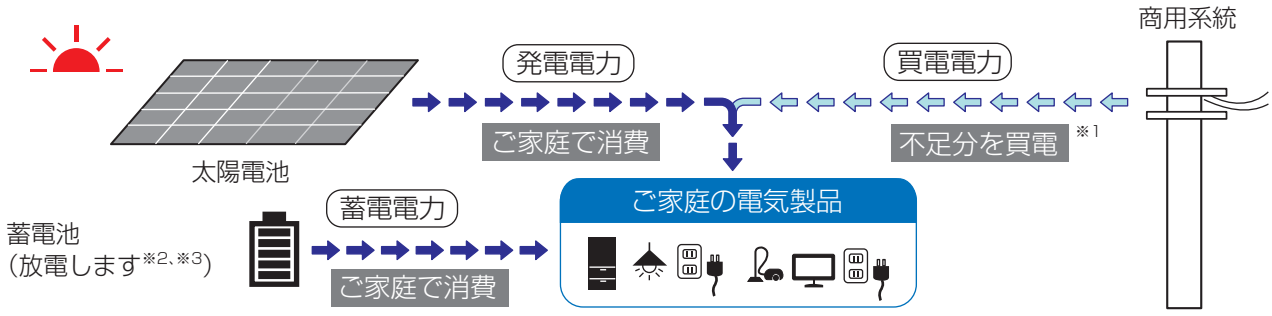
ご家庭の電気製品は、太陽光発電の発電電力を使って動きます。余った発電電力を蓄電池ユニットに充電します。さらに余った場合は電力会社に売ります。（売電）



※ 最大 2.5kW で充電します。満充電に近づくにつれて、充電電力が抑制されます。

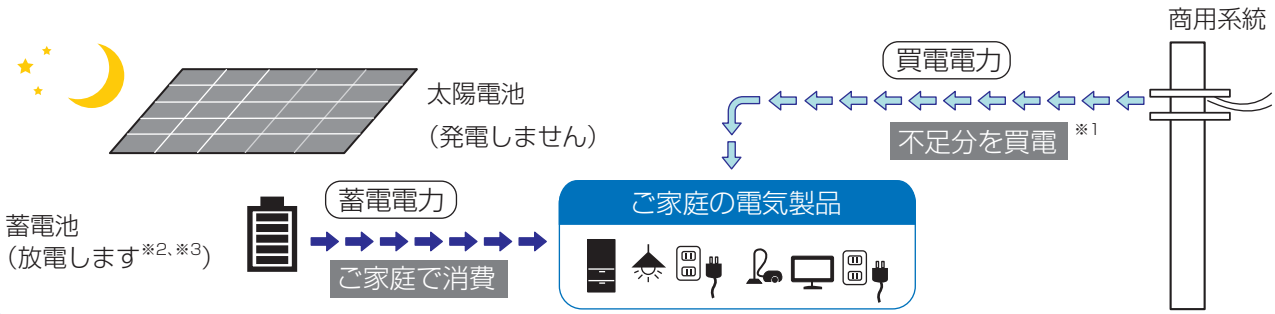
Ⓑ 「太陽光発電の発電電力」＜「ご家庭の消費電力」の場合（朝夕など）

ご家庭の電気製品は、太陽光発電の発電電力、蓄電電力、および買電電力を使って動きます。
（太陽光発電の発電電力と蓄電電力で不足する電力分を電力会社から買います。（買電））



Ⓒ 夜間の蓄電池ユニットが充電しない時間帯

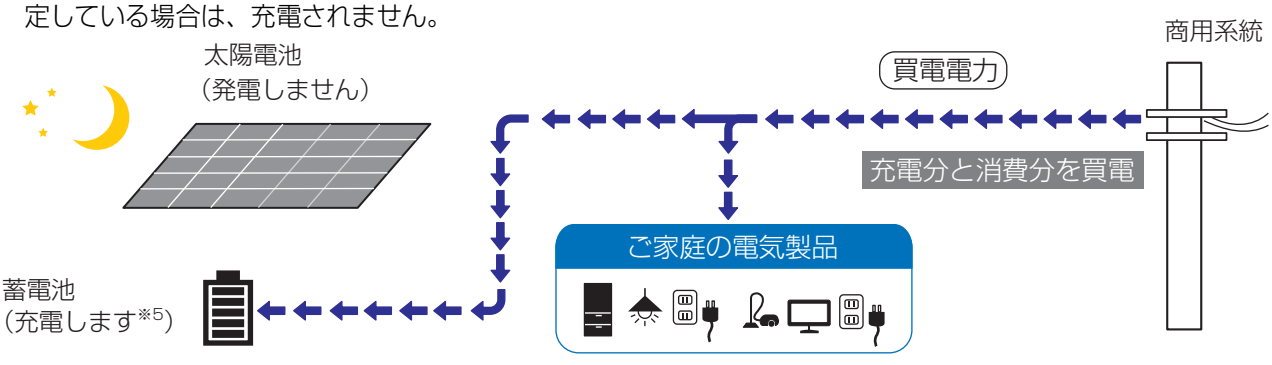
ご家庭の電気製品は、蓄電電力および買電電力を使って動きます。
（蓄電電力で不足する電力分を電力会社から買います。（買電））



Ⓓ 夜間の蓄電池ユニットが充電する時間帯

ご家庭の電気製品は、買電電力を使って動きます。また、料金の安い深夜電力を蓄電池ユニットに充電します。

- 充電する時間帯は設定できます。(⇨ 41)
- お客様の環境や電力の消費状態によっては、設定した充電量※4 まで充電できない場合があります。
- 「チクデンドウサモード」(⇨ 38) を「グリーン」に設定していて、「SOC ジョウゲン」(⇨ 40) を「0%」に設定している場合は、充電されません。



※ 1. 不足していない場合でも、商用系統に逆流しないように約 0.1kW を買電します。
※ 2. 最大 2.5kW で放電します。
※ 3. 充電時間帯、及び放電時間帯の設定によっては、放電しない場合があります。また、放電曜日設定で「放電しない」に設定されている日は放電しません。
※ 4. 「チクデンドウサモード」(⇨ 38) が「グリーン」の場合は、「SOC ジョウゲン」(⇨ 40) で設定した充電量まで。
「チクデンドウサモード」(⇨ 38) が「ケイザイ」/「アンシン」の場合は、満充電まで。
※ 5. 最大 2.5kW で充電します。満充電に近づくにつれて、充電電力が抑制されます。

自立運転について

停電などで電力会社からの電力供給が停止したときに、蓄電池から電力を供給します。停電時には自動で自立運転に切り替わり、蓄電池ユニットに貯めた電力や太陽光発電の発電電力（システム併設のみ）を特定負荷用分電盤に接続した電気製品やコンセントで使うことができます。復電後は、自動で連系運転に切り替わります。

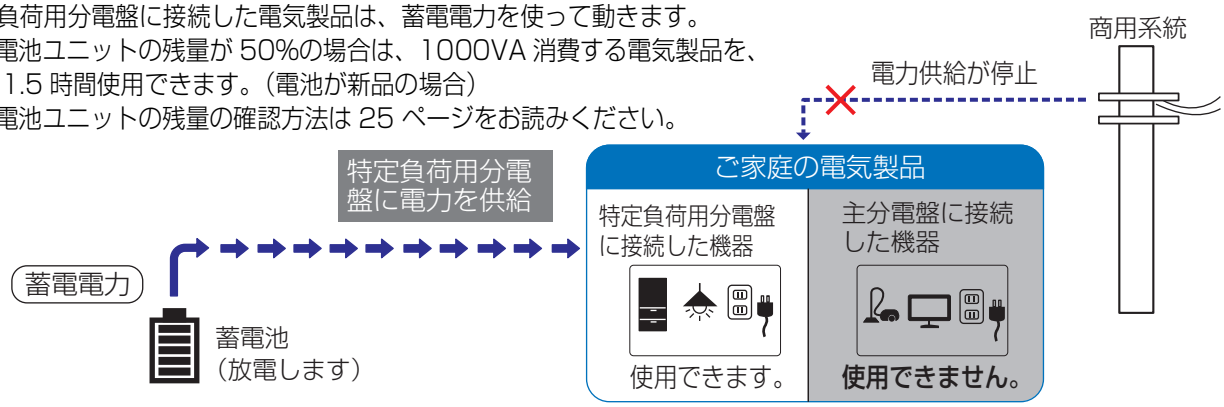
自立運転時の電力供給状態について システム単体

停電時は自動的に自立運転に切り替わり（⇨ 31）、蓄電池を放電して、特定負荷用分電盤に電力を供給します。特定負荷用分電盤に接続している機器は使用できます。（下記はイメージ図です）

- 「テイデンジモード」(⇨ 43) を「タイヨウコウキュウデン」に設定しないでください。停電時に蓄電池から電力を供給できません。

特定負荷用分電盤に接続した電気製品は、蓄電電力を使って動きます。

- 蓄電池ユニットの残量が 50%の場合は、1000VA 消費する電気製品を、約 1.5 時間使用できます。（電池が新品の場合）
- 蓄電池ユニットの残量の確認方法は 25 ページをお読みください。



自立運転時の電力供給状態について システム併設

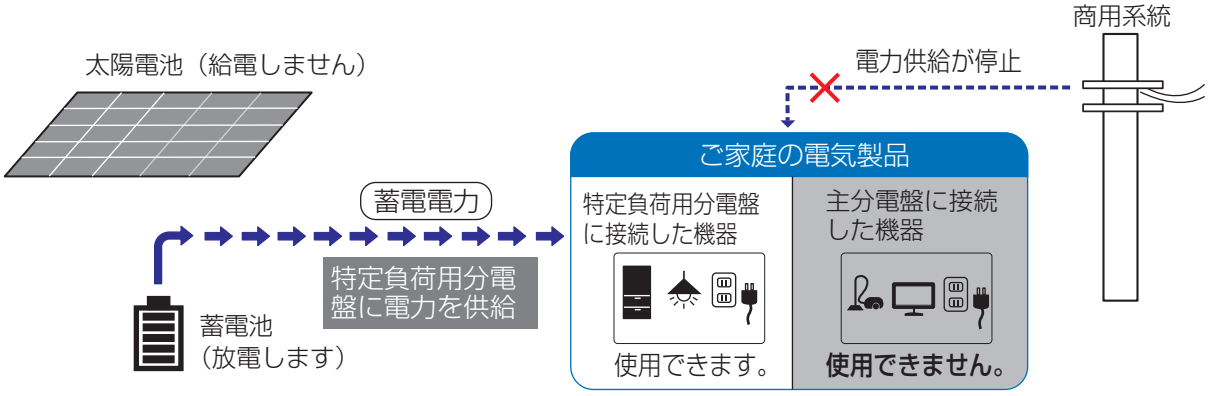
停電時は自動的に自立運転に切り替わります。(⇨ 31) 電力の供給は、「テイデンジモード」(⇨ 43) の設定によって電力の供給状態が異なります。

Ⓐ「テイデンジモード」が「チクデンチキュウデン」に設定されている場合
Ⓑ「テイデンジモード」が「タイヨウコウキュウデン」に設定されている場合
Ⓒ「テイデンジモード」が「ジドウ」に設定されている場合

Ⓐ「テイデンジモード」(⇨ 43) が「チクデンチキュウデン」に設定されている場合

特定負荷用分電盤に接続した電気製品は、蓄電池の蓄電電力を使って動きます。（太陽電池からは給電されません。）

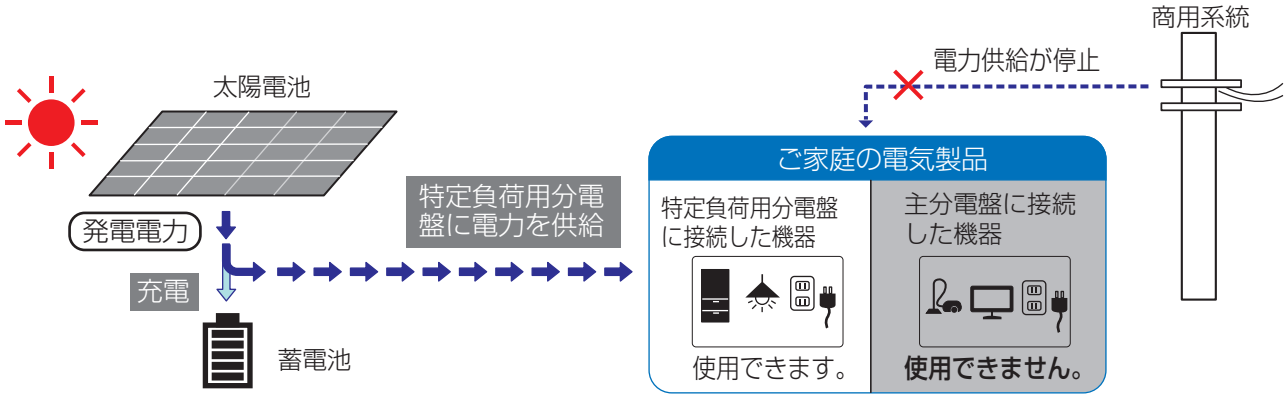
- 蓄電池ユニットの残量が 50%の場合は、1000VA 消費する電気製品を、約 1.5 時間使用できます。（電池が新品の場合）
- 蓄電池ユニットの残量の確認方法は 25 ページをお読みください。



Ⓑ「テイデンジモード」(⇨ 43) が「タイヨウコウキュウデン」に設定されている場合

特定負荷用分電盤に接続した電気製品は、太陽光発電の発電電力を使って動きます。

- 太陽光発電の発電電力で蓄電池の充電もできます。蓄電池に給電したい場合は、「テイデンジジュウデン」(⇨ 44) の設定を「0W」以外にしてください。ただし、特定負荷用分電盤に接続した機器の消費電力と蓄電池への給電の電力の合計が太陽光発電の発電電力を上回った場合、ソーラーパワーコンディショナが運転停止します。
  ソーラーパワーコンディショナの運転を再開するには、ソーラーパワーコンディショナの取扱説明書をご覧ください。
- 夜間は太陽光発電ができないため、特定負荷用分電盤に接続した機器は使用できません。（蓄電池への充電もできません。）



Ⓒ「テイデンジモード」(⇨ 43) が「ジドウ」に設定されている場合

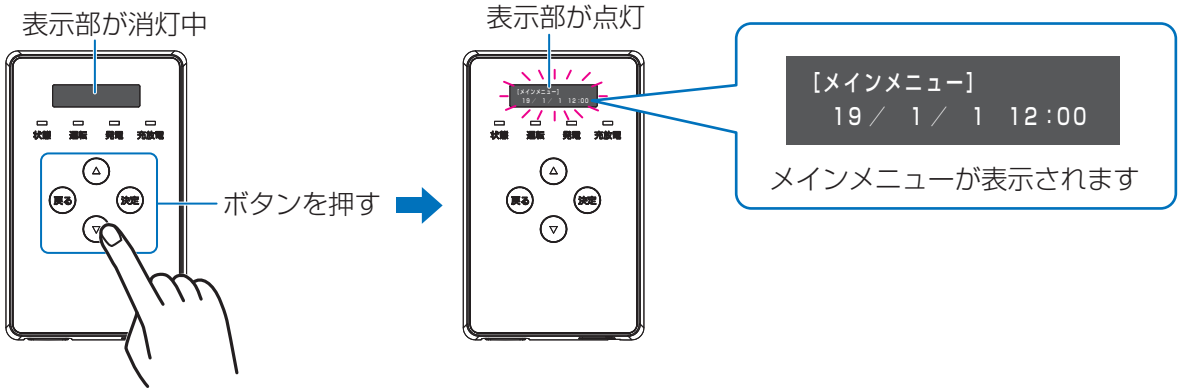
特定負荷用分電盤に接続した電気製品は、太陽光発電の発電電力もしくは蓄電池の蓄電電力を使って動きます。
太陽光発電の発電電力、蓄電池の蓄電電力のどちらの給電方法を使用するかは、自動で判定します。

- 蓄電池の蓄電電力を使用して給電する場合は Ⓐ と同じ動作になります。
- 太陽光発電の発電電力を使用して給電する場合は Ⓑ と同じ動作になります。
- **給電方法が切り替わる時には、一時的に自立運転を停止します。そのため、特定負荷用分電盤に接続した機器への電力供給が一時的に中断しますので、ご注意ください。**

ゲートウェイの基本操作

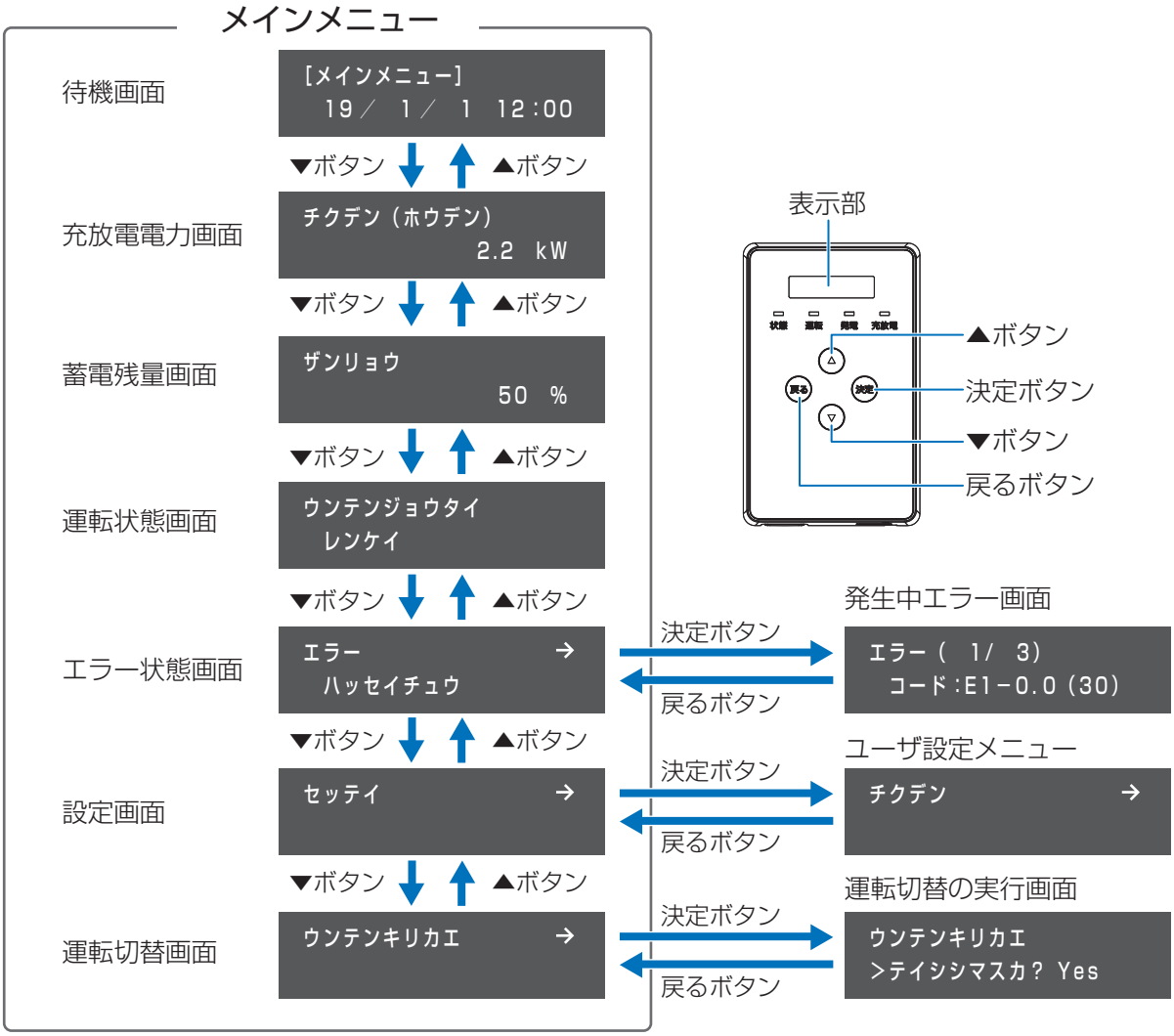
1 いずれかのボタンを押して表示部を点灯させる

- 表示部は 10 分間操作をしないと消灯します。



2 ▲/▼ボタンを押してメインメニューを切り替える

- ゲートウェイの基本画面を「メインメニュー」と呼びます。詳しくは 26 ページをお読みください。



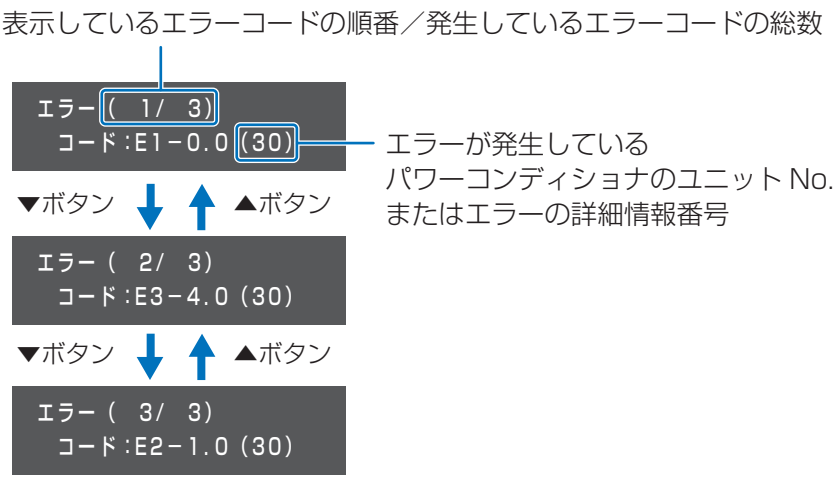
- 表示部に → がある項目は決定ボタンを押すと、次の階層に進みます。



メインメニューについて

ゲートウェイの基本画面を「メインメニュー」と呼びます。

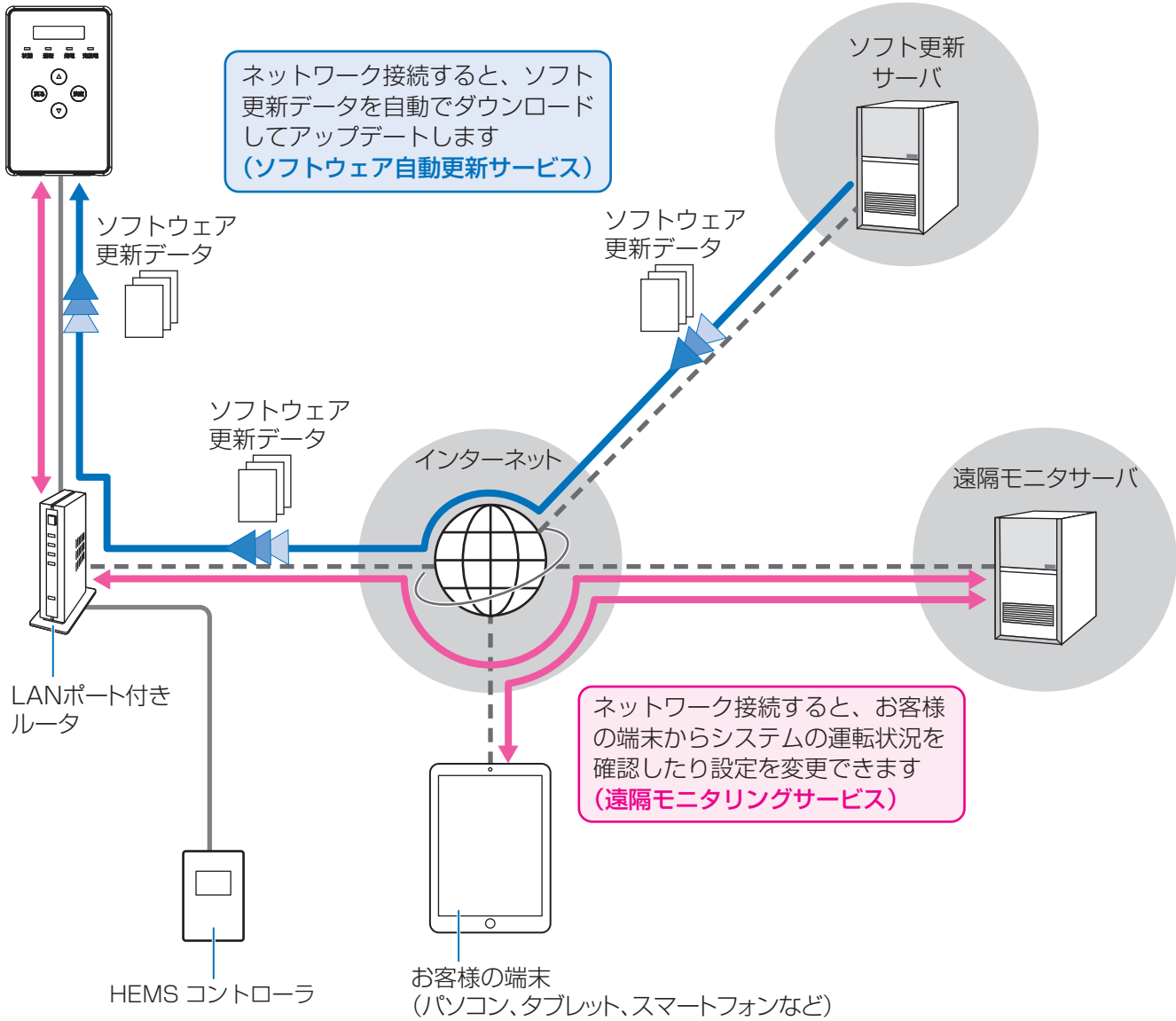
- ゲートウェイを起動したり、消灯している表示部を点灯させると、メインメニューが表示されます。また、各種メニュー画面で、戻るボタンを数回押すとメインメニューに戻ります。

メインメニュー	画面表示	内容
待機画面	（時刻表示）	現在の日時を表示します。
充放電電力画面	チクデン（ジュウデン / ホウデン / タイキ）	充放電電力の合計を表示します。
蓄電残量画面	ザンリョウ	蓄電池の残量（%）を表示します。
運転状態画面	ウンテンジョウタイ	接続しているパワーコンディショナの運転状態を表示します。
エラー状態画面	エラー	エラー発生の有無を表示します。 エラーが発生している場合は「ハッセイチュウ」が表示され、決定ボタンを押すと、「発生中エラー画面」を表示します。 ● 発生中エラー画面では、現在発生中のエラーを最大 20 件表示します。  ● エラーが発生していない場合は「エラーナシ」が表示されます。
設定画面	セッテイ	決定ボタンを押すと、ユーザ設定メニュー（お客様用の設定画面）を表示します。（⇨ 35）
運転切替画面	ウンテンキリカエ	決定ボタンを押すと、パワーコンディショナの運転切替の実行画面を表示します。 運転切替の実行画面では、パワーコンディショナの運転停止／再開の操作ができます。（⇨ 34）

ネットワーク接続とサーバとの通信確認を行う

ゲートウェイを使用する前に、必ずネットワーク（インターネット）に接続し、サーバとの通信確認を行ってください。

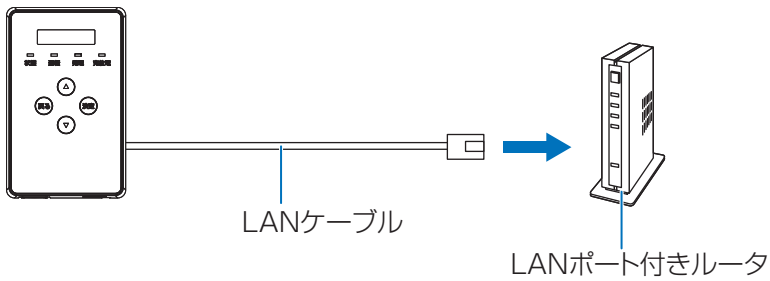
ネットワーク接続とサーバとの通信確認の目的



- ゲートウェイを有線 LAN 経由でインターネットに接続することで、ゲートウェイのソフトウェアは自動で更新され、常に最新の状態でご使用いただくことができます。
- インターネットに接続する前に、同梱のチラシ「本製品のサーバ接続機能およびソフトウェア自動更新サービスについて」をお読みください。
- 本製品には、LAN ポート付きルータは付属していません。お客様にてご用意ください。
- インターネット接続の際にかかる通信料やプロバイダ料などは、すべてお客様のご負担となります。
- ソフトウェア更新には、時間がかかる場合があります。更新が完了するまで、ゲートウェイは使用できません。
- HEMS コントローラを使用する場合は、HEMS を有効にしてください。(⇨ 47)

1. ネットワークに接続する

1 ゲートウェイに接続されている LAN ケーブルを LAN ポート付きルータに接続する



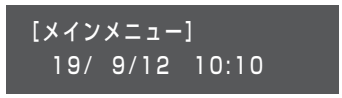
- お客様への引き渡し時にLANケーブルをLANポート付きルータに接続されている場合は、LANケーブルがルータに正しく接続されているか確認してください。
- LAN ポート付きルータの取扱説明書も併せてお読みください。
- ゲートウェイは DHCP に対応しており、DHCP 対応ルータと接続すると自動で IP アドレスを割り振られます。
  DHCP 非対応のルータをお使いの場合など、IP アドレスを手動で設定する場合は、46 ページをお読みください。

2. ソフト更新サーバとの通信確認をする

下記手順ソフト更新サーバと通信できているか確認してください。

1 （ゲートウェイ表示部が消灯している場合）
ゲートウェイのいずれかのボタンを押して、表示部を点灯させる

- メインメニュー（⇨ 26）が表示されます。



2 ▲ / ▼ボタンで「セッテイ」を選択し、決定ボタンを押す



3 ▲ / ▼ボタンで「ツウシンサービス」を選択し、決定ボタンを押す



4 ▲ / ▼ボタンで「ソフトジドウコウシン」を選択し、決定ボタンを押す



5 決定ボタンを押す

- 「ソフトジドウコウシン　ツウシンカクニンチュウ...」が表示されたあとに「ツウシン OK」が表示されます。



「ソフトジドウコウシン　NG ～～」が表示された場合
① 30 ページの対応を確認する
② いずれかのボタンを押す
③ 再度、手順 4 ～ 5 を行う

- 戻るボタンを数回押すと、メインメニューに戻ります。

3. 遠隔モニタサーバとの通信確認をする

下記手順で遠隔モニタサーバと通信できているかを確認してください。

1 （ゲートウェイ表示部が消灯している場合）
ゲートウェイのいずれかのボタンを押して、表示部を点灯させる

- メインメニュー (⇨ 25) が表示されます。



2 ▲ / ▼ボタンで「セッテイ」を選択し、決定ボタンを押す

3 ▲ / ▼ボタンで「ツウシンサービス」選択し、決定ボタンを押す

4 ▲ / ▼ボタンで「エンカクモニタリング」を選択し、決定ボタンを押す

5 決定ボタンを押す

- 「エンカクモニタリング　ツウシンカクニンチュウ...」が表示されたあとに「ツウシン OK」が表示されます。

「エンカクモニタリング　NG ～～」が表示された場合
① 30 ページの対応を確認する
② いずれかのボタンを押す
③ 再度、手順 4 ～ 5 を行う

- 戻るボタンを数回押すと、メインメニューに戻ります。

4. お客様の端末から遠隔モニタリングサービスの WEB サイトにアクセスする

お客様の端末（パソコン、タブレット、スマートフォンなど）から遠隔モニタリングサービスの WEB サイトにアクセスしてください。

ウェブブラウザを起動し、下記 URL にアクセスしてください。

サイト名	内容	アクセス先（URL）
モニタリングサイト	ゲートウェイ / パワーコンディショナの蓄電状況、端末設定に関する WEB サイト	https://ctrl.kp-net.com

- ご使用前にお客様の ID、ゲートウェイの ID、パスワードの登録が必要になります。登録方法はゲートウェイ同梱のお客様用「遠隔モニタリングサービス　ご登録にあたって」／「本製品のサーバ接続機能およびソフトウェア自動更新サービスについて」をご覧ください。
- 遠隔モニタリングサービスの操作に関するマニュアルは、WEB サイトにログイン後に参照することができます。

◆販売店による遠隔モニタリングについて

お客様が保守を販売店に希望され、その販売店がアカウントを所有している場合、お客様が遠隔モニタリングサービスで紐付け登録することにより、その販売店がゲートウェイを遠隔モニタリングできるようになります。紐付け登録時には販売店の ID、登録電話番号が必要になりますので、販売店にお問い合わせください。

5.HEMS を有効にする（HEMS コントローラ使用時のみ）

HEMS コントローラを使用する場合は、HEMS を有効にしてください。(⇨ 47)

◆通信確認中に「NG」が表示された場合

ソフト更新サーバまたは遠隔モニタサーバとの通信確認中に「NG」が表示された場合は、下記項目を確認し、再度通信確認を行ってください。

表示内容	対応
NG	お買い上げの販売店に相談してください。
NG　LAN ミセツゾク	LAN ケーブルが接続されているか確認してください。
NG　サーバエラー	お買い上げの販売店に相談してください。

システムの運転の切り替え

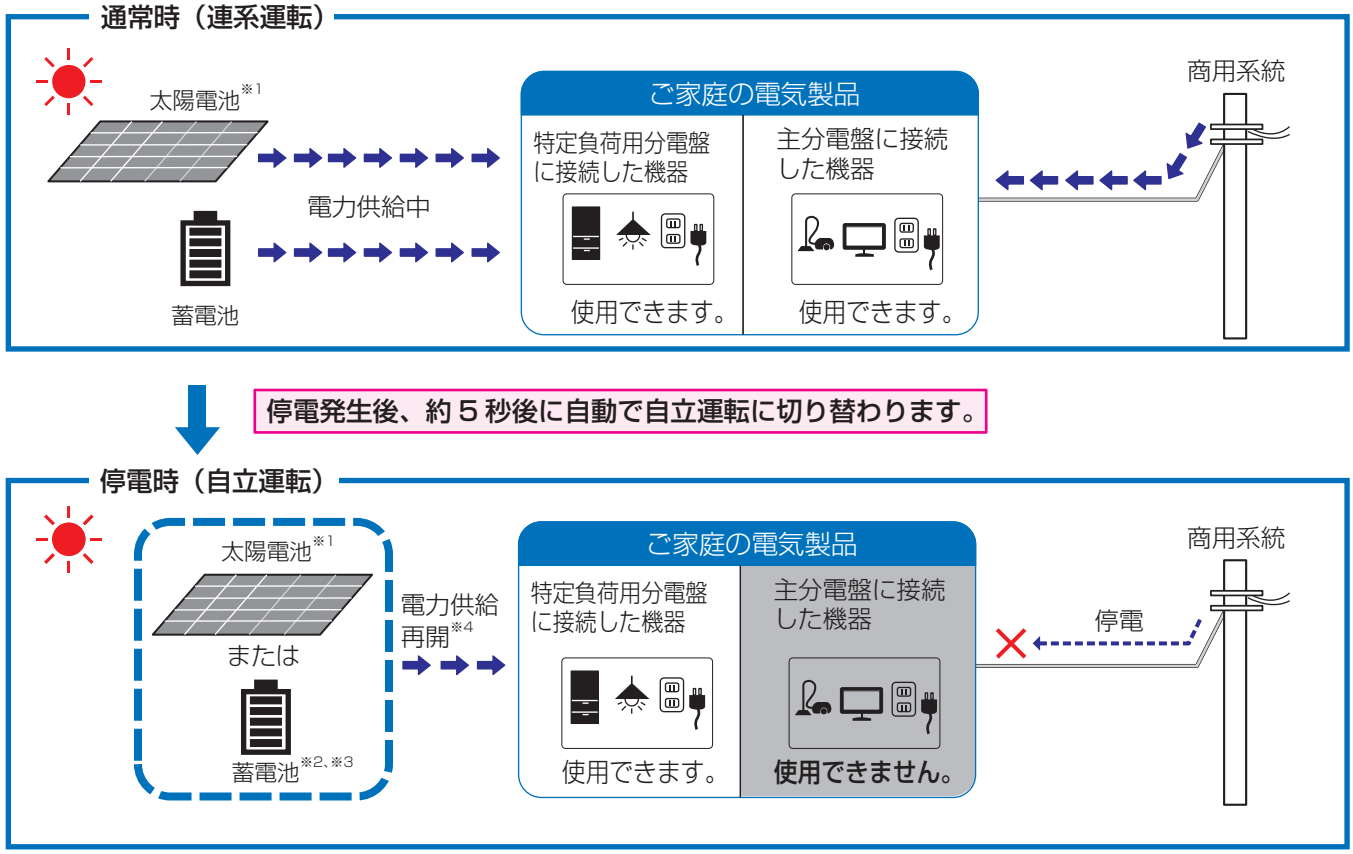
停電時（自立運転への自動切り替え）

停電などで電力会社からの電力供給が停止すると、自動で連系運転から自立運転に切り替わるため、お客様での切り替え操作は必要ありません。自立運転に切り替わると、特定負荷用分電盤に接続している電気製品やコンセントに蓄電池ユニットに蓄えた電力または太陽光発電の発電電力※1が供給されます。

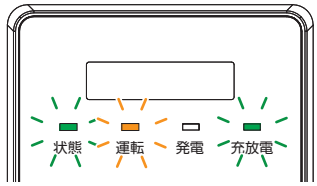
- **システム併設** ソーラーパワーコンディショナの自立運転への切り替えについては、ソーラーパワーコンディショナの取扱説明書をご確認ください。

停電時に備えて、どのコンセント（もしくは電気製品）が特定負荷用分電盤に接続されているかを、確認しておいてください。

（下記はイメージ図です）



- 自立運転中は、ゲートウェイの運転ランプが、橙色に点灯します。充放電ランプは充電中は橙色、放電中は緑色に点灯します。



※1. **システム併設** のみ

※2. 蓄電池ユニットの過放電防止のため、停電時は規定の蓄電残量である 10% になると放電を停止します。その後、蓄電残量が 20% 以上まで充電されると、放電を再開します。「SOC カゲン 」（⇨ 39）を 10% 以下に設定すると、停電時に電気をすぐに使用できない場合があります。

※3. 「テイデンジモード」が「タイヨウコウキュウデン」もしくは「ジドウ」に設定されている場合、太陽光発電から蓄電池に充電される場合があります。供給する電力は、「テイデンジジュウデン」の設定によって異なります。(⇨ 44)

※4. 電力供給元は、「テイデンジモード」の設定に従って供給されます。(⇨ 43)

◆停電時に使用する場合のご注意

- 特定負荷用分電盤または特定負荷用コンセントには、突然停止しても安全性に問題がない電気製品を接続してください。下記の電気製品は特定負荷用分電盤または特定負荷用コンセントに接続しないでください。
  - すべての医療機器
  - 灯油やガスを用いる冷暖房機器やヒータを持つ機器
  - デスクトップパソコンなどのバッテリを持たない情報機器
  - その他、途中で止まると生命や財産に損害を及ぼす機器
- 特定負荷用分電盤または特定負荷用コンセントに接続している電気製品の合計消費電力は、2000VA 以下（AC 100V で最大 20A 以下）になるようにしてください。
- 蓄電池ユニットの電池残量や太陽光発電の発電量（システム併設のみ）などにより 2000VA の電力が供給されない場合があります。
- 電気製品によっては定格のワット数（W）以上の電力（VA）を消費するものがあります。そのため、定格のワット数（W）が「2000」以下であっても使えない場合があります。
- 特定負荷用分電盤または特定負荷用コンセントに接続する電気製品を安定してお使いいただくため、また停電時により長い時間お使いいただくため、接続する電気製品の合計電力（W）は 500W 程度に抑えることをお勧めします。
- 停電時に万一、特定負荷用コンセントに接続した電気製品が使えない場合は、特定負荷用コンセントから外してください。
- 停電時に万一、特定負荷用分電盤に接続した電気製品が使えない場合は、電気製品が接続されている分岐ブレーカを「オフ」にしてください。
- 蓄電池の電池残量が残り少なく、放電できない場合は、表示部に「C9-3.0」（放電停止 SOC 到達）が表示されます。蓄電池の電池残量が 0% になると、表示部に「C9-1.0」（蓄電残量低下 (停電時)）が表示され、約 30 分後にシステムの電源が切れ、待機状態になります。（パワーセーブモード）
- システム併設 蓄電池の電池残量が 0% になっても、下記の設定条件を満たしていれば、太陽光発電している場合は蓄電池に充電することができます。
  - 「テイデンジモード」の設定が「タイヨウコウキュウデン」もしくは「ジドウ」(⇨ 43)
  - 「テイデンジジュウデン」の設定が「0W」以外（初期値は 0W です。設定を変更する必要があります。）(⇨ 44)
- システムの電源が切れた場合は、復電後に再起動します。長期に渡ってシステムの電源が切れた場合は、再起動後に日時設定画面が表示されます。(⇨ 48) 再設定を行ってください。

◆自立運転を停止させるには

34 ページに記載している「運転 / 停止の手動切り替え」の操作で停止させてください。

- 自立運転の停止中に復電した場合は、自動で連系運転に切り替わりません。再度「運転 / 停止の手動切り替え」(⇨ 34) の操作で運転を再開し、連系運転に切り替えてください。

◆自立運転が自動的に停止した場合は

掃除機や冷蔵庫など、電流が急激に流れる機器を使用すると、保護機能が働いて運転が停止することがあります。運転が停止した場合は、特定負荷用分電盤に接続している機器の一部を停止し、消費電力を少なくしてください。（システム併設「テイデンジモード」の設定が「タイヨウコウキュウデン」もしくは「ジドウ」に設定している場合 (⇨ 43) は、「テイデンジジュウデン」の設定を小さな値に変更してください。(⇨ 44)）

数分後に自動で自立運転を再開します。

自動で自立運転を再開しない場合は、34 ページに記載している「運転 / 停止の手動切り替え」の操作で一旦停止させて、再度運転させてください。

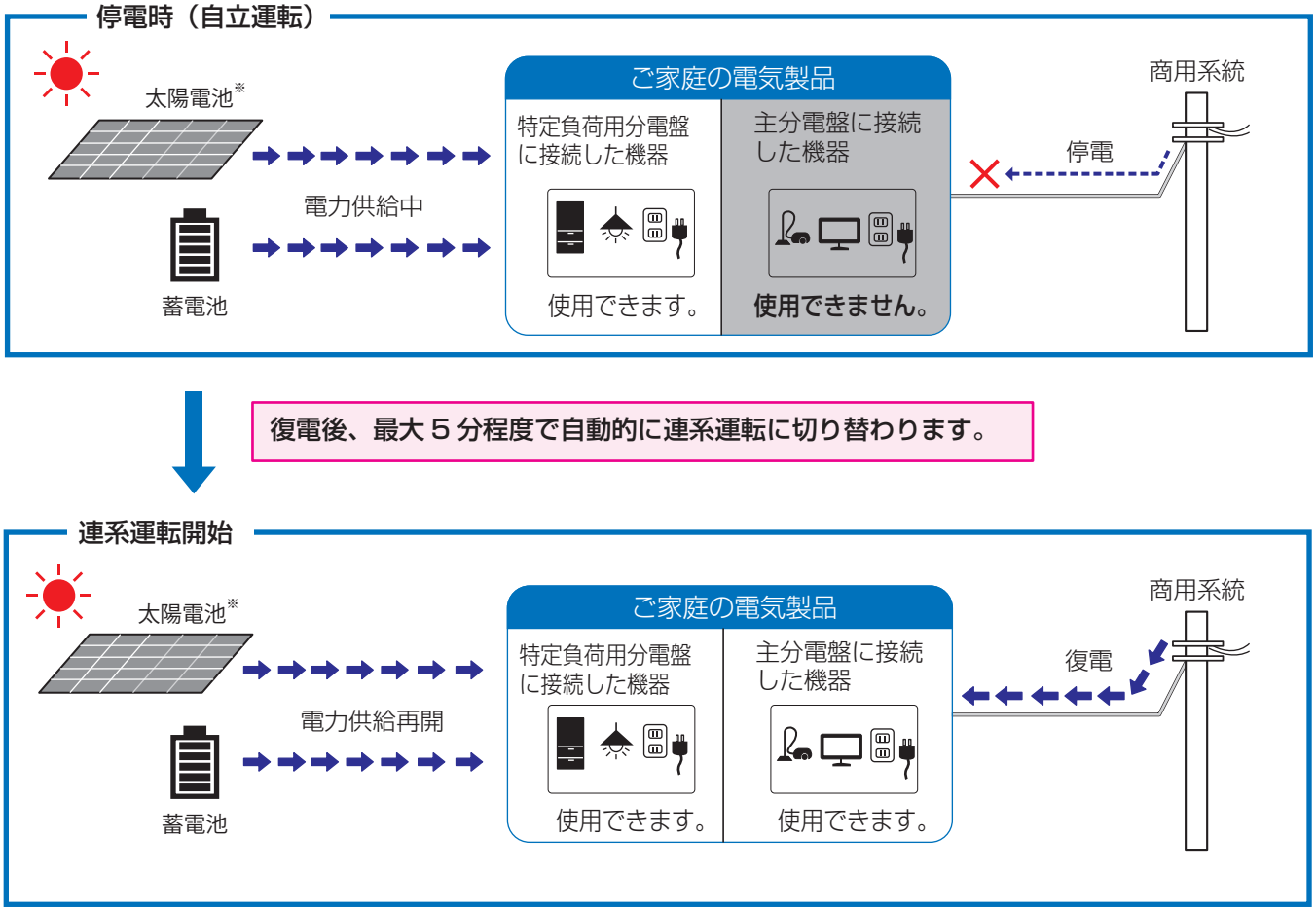
復電時（連系運転への自動切り替え）

復電すると自動で自立運転から連系運転に切り替わるため、お客様での切り替え操作は必要ありません。

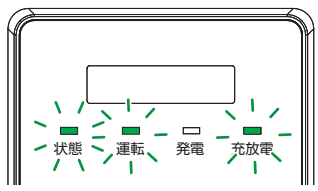
メインメニューの「ウンテンジョウタイ」で「レンケイ」と表示されているか確認してください。(⇨ 26)

- **システム併設** ソーラーパワーコンディショナの連系運転への切り替えについては、ソーラーパワーコンディショナの取扱説明書をご確認ください。

（下記はイメージ図です）



- 連系運転中は、ゲートウェイの運転ランプ緑色に点灯します。充放電ランプは充電中は橙色、放電中は緑色に点灯します。



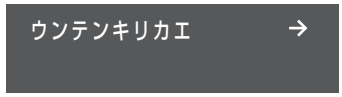
※ **システム併設** のみ

運転 / 停止の手動切り替え

- システムは自動で運転状態を継続しますので、日常での運転 / 停止の切り替えは不要です。手動でパワーコンディショナの運転停止 / 再開をする場合は、下記操作で行ってください。
- 長時間の運転停止は行わないでください。運転停止状態が長時間続くと、蓄電池ユニットが完全放電し、蓄電池ユニットが使用できなくなる場合があります。

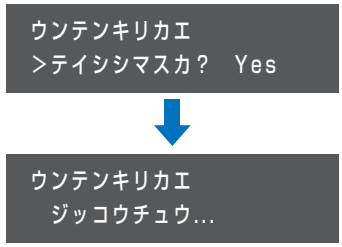
運転を停止する

1 メインメニュー(⇨ 25) 表示中に▲ / ▼ボタンで「ウンテンキリカエ」を選び、決定ボタンを押す

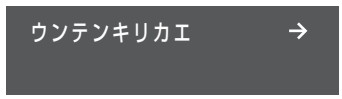


2 ▲ / ▼ボタンで「Yes」を選択し、決定ボタンを押す

- 「ジッコウチュウ ...」の表示後に、システムが運転を停止します。



3 戻るボタンを押して、メインメニューに戻る

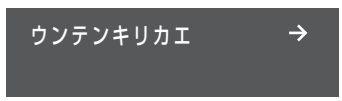


4 ▲ / ▼ボタンで「ウンテンジョウタイ」を選択し、運転が切り替わっていることを確認する



運転を再開する

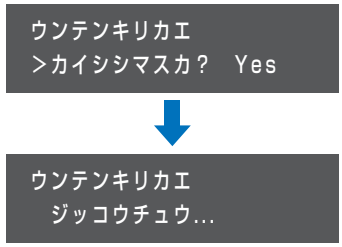
1 メインメニュー(⇨ 25) 表示中に▲ / ▼ボタンで「ウンテンキリカエ」を選び、決定ボタンを押す



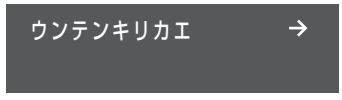
2 ▲ / ▼ボタンで「Yes」を選択し、決定ボタンを押す

- 「ジッコウチュウ ...」の表示後に、システムが運転を停止または開始します。
- 投入遅延時間※が経過すると、システムの運転を開始します。

※ 投入遅延時間とは、連系運転中に商用系統側で停電等の異常が発生したあと、配電側の電気が復旧し、パワーコンディショナが運転再開するまでの時間です。



3 戻るボタンを押して、メインメニューに戻る



4 ▲ / ▼ボタンで「ウンテンジョウタイ」を選択し、運転が切り替わっていることを確認する



上記の操作は、パワーコンディショナの運転許可スイッチが「オン」（⇨ 16）状態のときにのみ可能です。
- 運転許可スイッチが「オフ」状態のときは、「ウンテンキリカエ　タイショウナシ」が表示されます。

ユーザ設定メニューの使い方

お客様用の設定画面を「ユーザ設定メニュー」と呼びます。

- 表示部が消灯している場合は、操作ボタンのいずれかを押して表示部を点灯させてください。
- 数値にカーソルが当たっている状態で▲ / ▼ボタンを長押しすると、数値が高速で増減します。
- メニューを選択した後は、数秒間メニュー番号（例：UP、UP01 など）が表示されます。

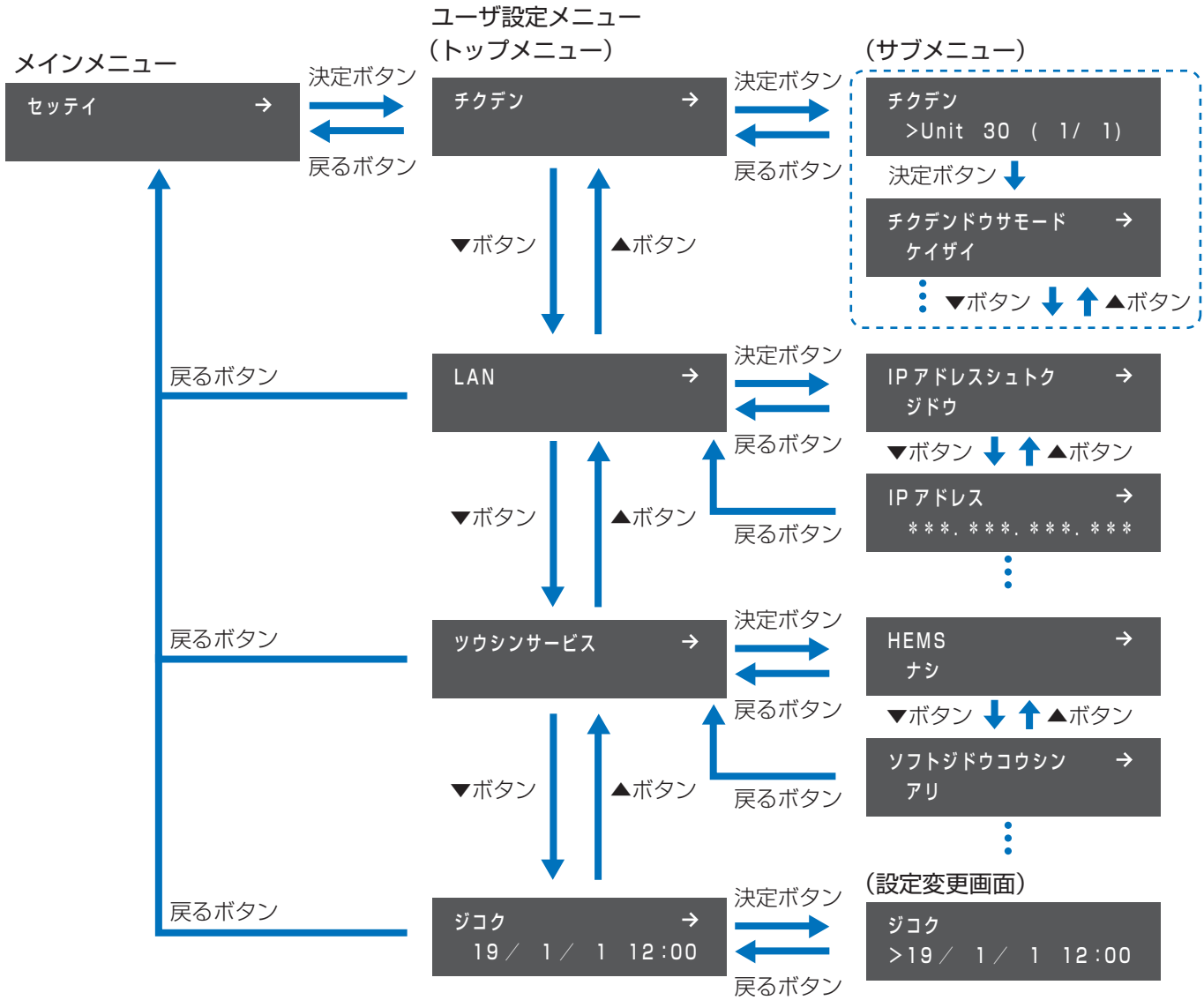
1 メインメニュー (⇨ 25) 表示中に、▲ / ▼ボタンで「セッテイ」を選択し、決定ボタンを押す

2 ▲ / ▼ボタンで希望の設定項目（トップメニュー）を選択し、決定ボタンを押す

3 ▲ / ▼ボタンで希望の設定項目（サブメニュー）を選択し、決定ボタンを押す

- サブメニューが無い場合は、設定変更画面が表示され、設定値を変更することができます。

4 ▲ / ▼ボタンで希望の設定値を選択し、決定ボタンを押す



◆セッテイメニュー一覧

トップメニュー		サブメニュー		内容
メニュー番号	メニュー名	メニュー番号	メニュー名	
UP	チクデン（⇨ 37）	UP01	チクデンドウサモード	蓄電システムの動作モードを設定します。
		UP11	SOC カゲン	蓄電残量（SOC）の下限を設定します。
		UP12	SOC ジョウゲン	充電時間帯の蓄電残量の上限を設定します。
		UP21	ジュウデンジカンタイ	充放電の開始時刻と終了時刻を設定します。
		UP22	ホウデンジカンタイ	
		UP23	ホウデンヨウビ	放電する曜日を設定します。
		UP31	ケイヤクアンペア	電力会社と契約しているブレーカのアンペアを設定します。
		UP41	テイデンジモード	停電発生時の特定負荷への給電方法を設定します。
		UP42	テイデンジジュウデン	太陽光発電システムを併設している場合に停電時に太陽光発電から蓄電池へ充電する電力を設定します。
		UP51	チクデンチシンダンビ	使用しません。
UL	LAN（⇨ 45）	UL01	IP アドレスシュトク	IP アドレスの取得方法（自動／手動）を設定します。
		UL11	IP アドレス	IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNS サーバの設定値を表示／変更します。 ● 設定値は「IP　アドレスシュトク」が「シュドウ」に設定されている場合のみ変更することができます。
		UL12	サブネットマスク	
		UL13	デフォルトゲートウェイ	
		UL14	DNS サーバ	
US	ツウシンサービス（⇨ 47）	US01	HEMS	HEMS の有効 / 無効を設定します。
		US11	ソフトジドウコウシン	ソフトウェア自動更新の有効 / 無効を設定します。
		US12	エンカクモニタリング	遠隔モニタリングサービスの有効 / 無効を設定します。
UT	ジコク（⇨ 48）	—		ゲートウェイの日時を設定します。

蓄電設定の変更のしかた（[UP] チクデン）

蓄電動作モードについて

本システムでは以下の６つの蓄電動作モードを設定することができます。

◆通常運転時

経済モード	経済的なメリットを優先させるモードです。電気料金の安い深夜時間帯に蓄電残量が 100% になるまで充電し、蓄電残量を0%まで使用できます。（充電した電力をすべて使うことができます。）
安心モード	停電時に使用できる蓄電残量を優先させるモードです。電気料金の安い深夜時間帯に蓄電残量が 100% になるまで充電し、充電した電力は 50%まで使用することができます。残りの電力は停電に備えて残しておきます。
グリーンモード	太陽光発電システムを併設している場合に、太陽光発電の余剰電力を充電することができるモードです。蓄電残量0%まで使用できます。（充電した電力をすべて使うことができます。） ●「SOC ジョウゲン」の設定 (⇨ 40) により、深夜時間帯に充電する蓄電残量が変わります。

◆非常時や保守時（通常時は使用しませんので、設定しないようにしてください。）

強制充電モード	計画停電に備えるなど、蓄電池ユニットを満充電の状態にしておきたい場合に設定します。強制充電モードにすると、時間帯に関わらず、満充電になるまで充電します。 ● システム単体　電力会社からの買電電力で充電します。 ● システム併設　太陽光発電中（昼間など）は太陽光発電の発電電力で充電します。 ● システム併設　発電電力が余る場合は、ご家庭で消費します。さらに余る場合は、売電されます。 ● システム併設　太陽光発電していないとき（夜間など）や太陽光発電の電力が不足する場合は、電力会社からの買電電力で充電します。
強制放電モード	引っ越しや交換で蓄電池ユニットを移動させるときなど、事前に強制放電したい場合に設定します。強制放電モードにすると、蓄電残量が 30%になるまで放電します。 ● ご家庭の電気製品は、蓄電電力および買電電力を使って動きます。蓄電電力で不足する電力は電力会社から買います。（不足していない場合でも、商用系統に逆流しないように約 0.1kW を買電します。） ● システム併設 太陽光発電の発電電力がご家庭の電気製品の消費電力より大きい場合は、放電しません。 ● **強制放電が終了するまでの時間は、ご家庭の消費電力状況により変わります。ご家庭の消費電力を増やすことで、放電を促進することができます。** **消費電力のめやすは 2500W で、約 1 時間で強制放電が完了します。**
待機モード	蓄電池ユニットが待機状態になり、このモードに設定している間、充電・放電しません。 ● 強制充電モードで充電が完了した場合や強制放電モードで放電が完了した場合に、待機モードに切り替わります。

蓄電動作モードの変更のしかた（[UP01] チクデンドウサモード）

システムの動作モードを設定します。

- 蓄電動作モードについて詳しくは 37 ページをお読みください。
- 通常は「ケイザイ」/「アンシン」/「グリーン」のいずれかに設定してください。
- **「キョウセイジュウデン」/「キョウセイホウデン」/「タイキ」は非常時や保守時のモードです。通常は設定しないでください。**

1 ユーザ設定メニュー（トップメニュー）の「チクデン」を選択し、決定ボタンを押す (⇨ 35)



- パワーコンディショナのユニット No. を表示します。

2 決定ボタンを押す



3 ▲/▼ボタンで「チクデンドウサモード」を選び、決定ボタンを押す



4 ▲/▼ボタンで設定値を選び、決定ボタンを押す



- 下記から選べます。
  ケイザイ / アンシン / グリーン※1 / キョウセイジュウデン※2 / キョウセイホウデン※2 / タイキ※2

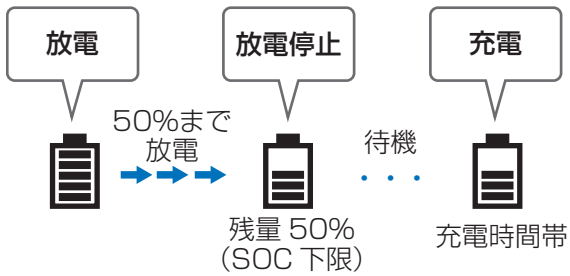
※ 1.太陽光発電システムを併設していない場合、グリーンモードに設定しないでください。
※ 2.非常時や保守時に設定するモードです。通常は設定しないでください。

- 戻るボタンを数回押すと、メインメニューに戻ります。

SOC（State Of Charge）下限の設定のしかた（[UP11] SOC カゲン）

停電に備えて、「チクデンドウサモード」(⇨ 38) で選んだモードの SOC 下限（放電できる蓄電残量の下限）を設定します。設定した蓄電残量まで放電すると、蓄電池ユニットは放電を停止します。

【例：SOC 下限を 50%に設定した場合】
蓄電残量が 50%になるまでは、太陽光発電の発電電力やご家庭の消費電力に合わせて放電します。蓄電残量が 50%になると放電を停止し、充放電時刻設定で設定した充電時間帯になるまで待機状態になります。



1 ユーザ設定メニュー（トップメニュー）の「チクデン」を選択し、決定ボタンを押す (⇨ 35)



- パワーコンディショナのユニット No. を表示します。

2 決定ボタンを押す



3 ▲ / ▼ボタンで「SOC カゲン」を選択し、決定ボタンを押す



4 ▲ / ▼ボタンで設定値を選び、決定ボタンを押す



- 蓄電動作モードによって、設定値が異なります。以下から選べます。
  – 「ケイザイ」「グリーン」モード：30%/20%/10%/0%（初期値）
  – 「アンシン」モード：100%/90%/80%/70%/60%/50%（初期値）/40%/30%/20%/10%/0%
- 蓄電池ユニットの過放電防止のため、停電時は規定の蓄電残量である 10% になると放電を停止します。その後、蓄電残量が 20% 以上充電されると、放電を再開します。「SOC カゲン」の設定を 10% 以下に設定した場合、停電時に電気をすぐに使用できない場合があります。停電時に電気を使用したい場合は、余裕を持った設定にしてください。

- 戻るボタンを数回押すと、メインメニューに戻ります。

◆蓄電残量と停電時の電気製品の使用時間のめやす

蓄電池ユニットの蓄電残量が 50%残っていて、1000VA 消費する電気製品を使う場合の時間は約 1.5 時間です。※

※ 蓄電池ユニットが新品で、「テイデンジモード」が「チクデンチキュウデン」の場合での数値です。

充電時間帯のSOC上限の設定のしかた（[UP12] SOCジョウゲン）

「チクデンドウサモード」(⇨ 38) を「グリーンモード」に設定している場合に、充電時間帯の蓄電残量の上限を設定します。

1 ユーザ設定メニュー（トップメニュー）の「チクデン」を選択し、決定ボタンを押す (⇨ 35)



- パワーコンディショナのユニットNo.を表示します。

2 決定ボタンを押す



3 ▲/▼ボタンで「SOCジョウゲン」を選び、決定ボタンを押す



4 ▲/▼ボタンで設定値を選び、決定ボタンを押す



- 下記から選べます。
  100%/90%/80%/70%/60%/50%/
  40%/30%/20%/10%/0%※（初期値）
  ※0%に設定すると充電時間帯に充電を行いません。

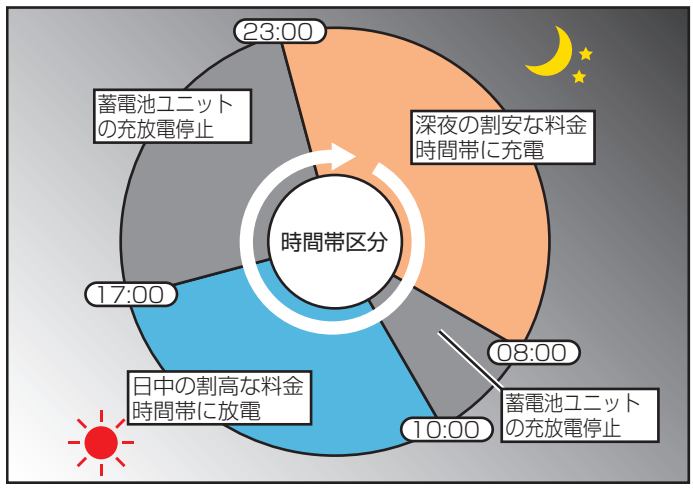
- 戻るボタンを数回押すと、メインメニューに戻ります。

充放電の時間帯の設定のしかた（[UP21] ジュウデンジカンタイ / [UP22] ホウデンジカンタイ）

蓄電池の充電する時間帯と放電する時間帯を設定できます。

下記のように、深夜 / 日中 / 朝夕と 3 つの時間帯に分かれた電気料金プランの場合、料金の割安な深夜に充電時間帯、割高な日中に放電時間帯を設定すれば、電気料金を抑えて、効率よく充放電することができます。

例：「チクデンドウサモード」を「ケイザイ」に、充電時間帯を 23:00 ～ 8：00 に、放電時間帯を 10：00 ～ 17：00 に設定した場合



- 「チクデンドウサモード」(⇨ 38) を「グリーンモード」に設定し、「SOC ジョウゲン」の設定 (⇨ 40) を「0%」に設定している場合は、充電時間帯であっても、充電されません。
- 「ホウデンジカンタイ」の設定は「チクデンドウサモード」(⇨ 38) が「ケイザイ」「アンシン」のときのみ有効です。
- 充電する時間帯と放電する時間帯が重ならないように設定してください。時間帯が重なっている場合は、充電を優先します。

- 充電時間帯は、ご契約されている電力会社の深夜電力時間帯（電気料金が安い時間帯）に合わせて設定してください。
- 時間帯別の電気料金については、ご契約されている電力会社ホームページをご確認ください。
- 充電開始時刻から約 10 分間、システムの自己診断のため、蓄電池ユニットの充放電が停止します。（蓄電池ユニットから「カチッ」という音がし、蓄電池ユニットのランプの点灯確認動作を行います。）約 10 分経過後より、実際に充電が開始されます。

1 ユーザ設定メニュー（トップメニュー）の「チクデン」を選択し、決定ボタンを押す (⇨ 35)



- パワーコンディショナのユニット No. を表示します。

2 決定ボタンを押す



3 ▲ / ▼ボタンで「ジュウデンジカンタイ」を選び、決定ボタンを押す



4 充電時間帯を設定する

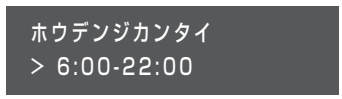


- ▲ / ▼ボタンで数字が増減します。
- 決定ボタンで次の数字にカーソルが移動します。
- 戻るボタンで前の数字にカーソルが戻ります。
- 最後のカーソルで、決定ボタンを押すと設定が確定します。

5 ▲ / ▼ボタンで「ホウデンジカンタイ」を選び、決定ボタンを押す



6 放電時間帯を設定する



- ▲ / ▼ボタンで数字が増減します。
- 決定ボタンで次の数字にカーソルが移動します。
- 戻るボタンで前の数字にカーソルが戻ります。
- 最後のカーソルで、決定ボタンを押すと設定が確定します。

- 戻るボタンを数回押すと、メインメニューに戻ります。

放電する曜日の設定のしかた（[UP23] ホウデンヨウビ）

蓄電池の放電する曜日を設定します。

電力会社の料金プランには、休日の電気料金が一日中割安になるというプランがあり、そのようなプランを契約している場合には、休日に放電しない設定にすることができます。

- 「ホウデンヨウビ」の設定は、「チクデンドウサモード」(⇨ 38) が「ケイザイ」「アンシン」のときのみ有効です。

1 ユーザ設定メニュー（トップメニュー）の「チクデン」を選択し、決定ボタンを押す (⇨ 35)



- パワーコンディショナのユニット No. を表示します。

2 決定ボタンを押す



3 ▲ / ▼ボタンで「ホウデンヨウビ」を選び、決定ボタンを押す



4 放電する曜日を設定する

例）月、火、水、木、金曜日に設定する場合



- ▲ / ▼ボタンで放電しない曜日を「--」、放電する曜日を曜日表示（Su/Mo/Tu/We/Th/Fr/Sa）に設定します。
- 決定ボタンで次の曜日選択にカーソルが移動します。
- 戻るボタンで前の曜日選択にカーソルが戻ります。
- 最後のカーソルで、決定ボタンを押すと設定が確定します。

- 戻るボタンを数回押すと、メインメニューに戻ります。

契約アンペアの設定のしかた（[UP31] ケイヤクアンペア）

電力会社と契約しているブレーカのアンペアを設定します。

契約アンペアは、必ず電力会社と契約しているアンペア数に合わせて設定してください。
間違って設定すると、主分電盤のブレーカが動作したり、満充電まで充電されない場合があります。

1 ユーザ設定メニュー（トップメニュー）の「チクデン」を選択し、決定ボタンを押す (⇨ 35)



- パワーコンディショナのユニット No. を表示します。

2 決定ボタンを押す



3 ▲/▼ボタンで「ケイヤクアンペア」を選び、決定ボタンを押す



4 ▲/▼ボタンで設定値を選び、決定ボタンを押す



- 下記から選べます。
  10A/15A/20A/30A/40A（初期値）/50A/60A
  /80A/100A/120A/150A/200A/250A/300A
  /350A/400A/450A/500A/600A

- 戻るボタンを数回押すと、メインメニューに戻ります。

停電時の給電方法の切り替え方（[UP41] テイデンジモード）

停電発生時の特定負荷への給電方法を設定します。

1 ユーザ設定メニュー（トップメニュー）の「チクデン」を選択し、決定ボタンを押す (⇨ 35)



- パワーコンディショナのユニット No. を表示します。

2 決定ボタンを押す



3 ▲/▼ボタンで「テイデンジモード」を選び、決定ボタンを押す



4 ▲/▼ボタンで設定値を選び、決定ボタンを押す



- 下記から選べます。
  - ジドウ（自動）（推奨）：
    「チクデンチキュウデン」または「タイヨウコウキュウデン」を自動で選択し、特定負荷へ給電します。
  - チクデンチキュウデン（蓄電池給電）：
    蓄電池に貯めた電力を、特定負荷へ給電します。
  - タイヨウコウキュウデン（太陽光給電）：
    太陽光発電システムを併設している場合、太陽光発電電力を特定負荷へ給電します。
- システム単体 の場合、「タイヨウコウキュウデン」には設定しないでください。停電時に蓄電池からの給電ができなくなります。

- 戻るボタンを数回押すと、メインメニューに戻ります。

停電時の充電電力の設定のしかた（[UP42] テイデンジジュウデン）

停電時に太陽光発電から蓄電池へ充電する電力を設定します。太陽光発電システムを併設している場合に設定してください。

- システム併設 の場合、「テイデンジモード」の設定が「ジドウ」または「タイヨウコウキュウデン」に設定されている必要があります。(⇨ 43)
- システム単体 の場合、この設定は使用しません。

1 ユーザ設定メニュー（トップメニュー）の「チクデン」を選択し、決定ボタンを押す (⇨ 35)



- パワーコンディショナのユニット No. を表示します。

2 決定ボタンを押す



3 ▲/▼ボタンで「テイデンジジュウデン」を選び、決定ボタンを押す



4 ▲/▼ボタンで設定値を選び、決定ボタンを押す



- 下記から選べます。
  0W（初期値）/200W/500W/1000W/1500W

- 戻るボタンを数回押すと、メインメニューに戻ります。

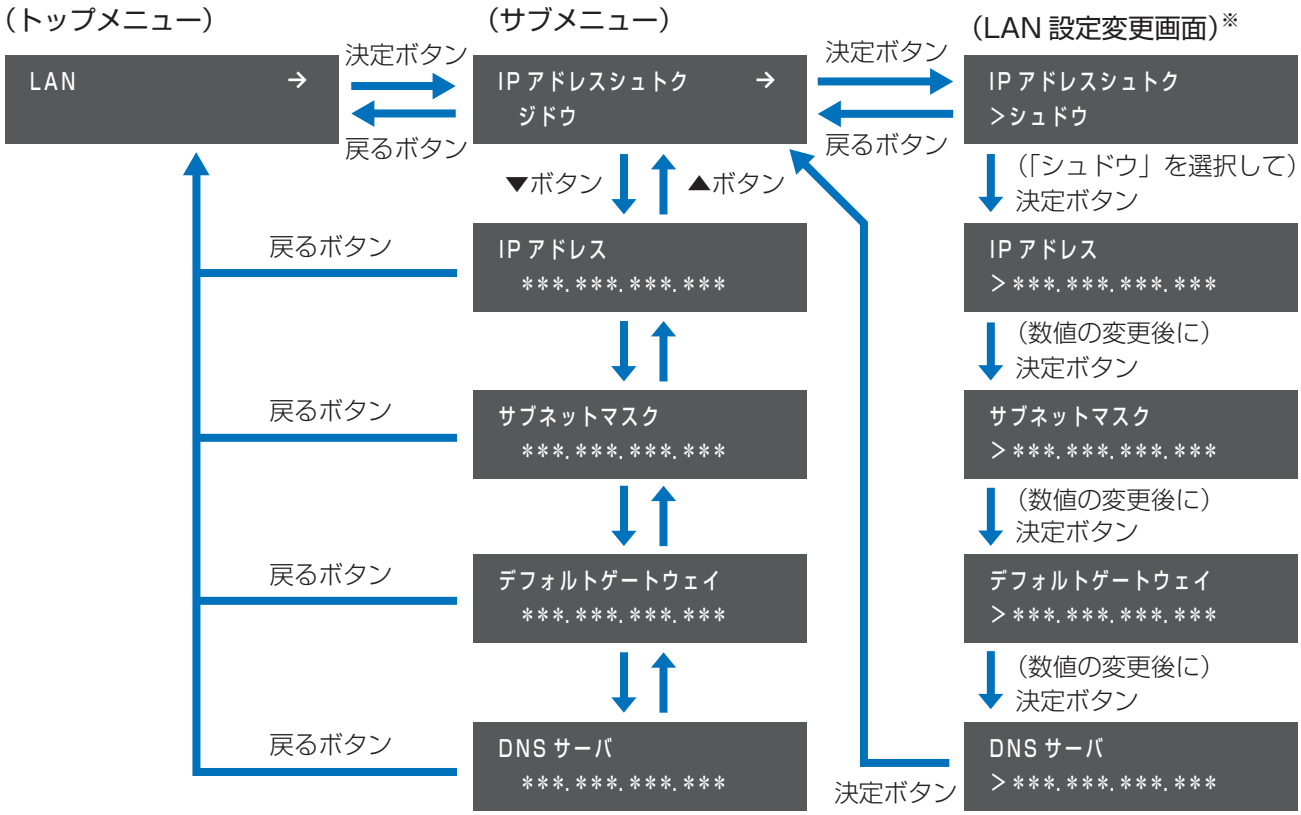
LAN 設定の確認・変更のしかた（[UL]LAN）

LAN 設定の状態を確認したり、設定を変更することができます。（通常は LAN 設定を変更する必要はありません）

1 ユーザ設定メニュー（トップメニュー）の「LAN」を選択し、決定ボタンを押す (⇨ 35)

2 サブメニューで、▲ / ▼ボタンを押して希望の項目を表示し、設定を確認する

- 設定を変更する場合は、「IP アドレスシュトク」画面で、決定ボタンを押して LAN 設定変更画面に進んでください。
  LAN 設定変更画面の操作方法について詳しくは、46 ページの「LAN 設定の変更のしかた（IP アドレスを手動で設定する場合）」をお読みください。



※ 上記の LAN 設定変更画面は、IP アドレスを手動で設定する場合の例です。

LAN 設定の変更のしかた（IP アドレスを手動で設定する場合）

通常、LAN 設定を変更する必要はありません。DHCP 非対応のルータをお使いの場合など、IP アドレスを手動で設定する場合に下記手順を行ってください。

● あらかじめ、接続するネットワークの情報を確認しておいてください。

1 ユーザ設定メニュー（トップメニュー）の「LAN」を選択し、決定ボタンを押す (⇨ 35)

2 ▲ / ▼ボタンで「IP アドレスシュトク」を選択し、決定ボタンを押す (⇨ 36)

● LAN 設定変更画面に移動します。

3 ▲ / ▼ボタンで「シュドウ」を選択し、決定ボタンを押す

4 下記表の設定項目を変更する

IP アドレスシュトク
>シュドウ

● 右端の数値にカーソルがある状態で決定ボタンを押すと、次の設定項目に進みます。

● 左端の数値にカーソルがある状態で戻るボタンを押すと、前の設定項目に戻ります。

設定項目	数値の変更のしかた
IP アドレス	▲ / ▼ボタンで数値を変更し、決定ボタンを押す ● 上記操作を繰り返して、すべての数値を設定してください。 ● 戻るボタンを押すと前の数値にカーソルが戻ります。 ● ▲ / ▼ボタンを長押しすると、数値が高速で切り替わります。
サブネットマスク	
デフォルト ゲートウェイ	
DNS サーバ	

DNS サーバの数値を変更し決定ボタンを押すと、サブメニューが表示されます。

◆IP アドレスの取得方法を手動から自動に戻す場合

① ユーザ設定メニュー（トップメニュー）の「LAN」を選択し、決定ボタンを押す (⇨ 35)

② ▲ / ▼ボタンで「IP アドレスシュトク」を選択し、決定ボタンを押す (⇨ 36)

● LAN 設定変更画面に移動します。

③ ▲ / ▼ボタンで「ジドウ」を選択し、決定ボタンを押す

IP アドレスシュトク
>ジドウ

通信サービス設定の変更のしかた（[US] ツウシンサービス）

HEMS の設定のしかた（[US01] HEMS）

HEMS コントローラを設置している場合は、HEMS を有効にしてください。

1 ユーザ設定メニュー（トップメニュー）の「ツウシンサービス」を選択し、決定ボタンを押す (⇨ 35)

2 ▲ / ▼ボタンで「HEMS」を選択し、決定ボタンを押す

3 ▲ / ▼ボタンで「アリ」（有効）または「ナシ」（無効）を選択し、決定ボタンを押す



ソフトウェア自動更新の設定のしかた（[US11] ソフトジドウコウシン）

ソフトウェアの自動更新の有効・無効を設定します。

操作方法については 28 ページをお読みください。

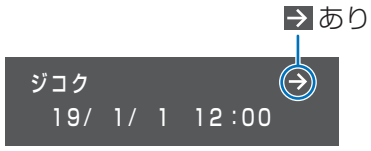
遠隔モニタリングサービスの設定のしかた（[US12] エンカクモニタリング）

遠隔モニタリングサービスの有効・無効を設定します。

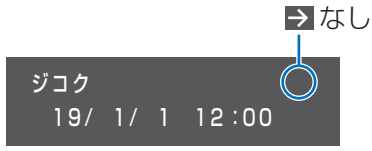
操作方法については 29 ページをお読みください。

日時設定の変更のしかた（[UT] ジコク）

ソフトウェア自動更新サービス (⇨ 28) または、遠隔モニタリングサービス (⇨ 29) が有効の場合は、ゲートウェイの日時はサーバと同期するため、日時を手動で変更できません。



日時を変更することができます。



日時を変更することができません。

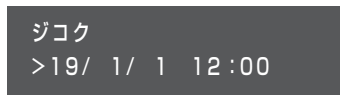
日時の変更は、ソフトウェア自動更新サービスおよび遠隔モニタリングサービスが無効の場合のみ可能です。

1 ユーザ設定メニュー（トップメニュー）の「ジコク」を選択し、決定ボタンを押す (⇨ 35)



2 ▲ / ▼ボタンで数値を変更し、決定ボタンを押す

- 上記操作を繰り返して、年 / 月 / 日 / 時 / 分を設定してください。
- 戻るボタンを押すと前の桁にカーソルが戻ります。
- ▲ / ▼ボタンを長押しすると、数値が高速で切り替わります。



- 分を選択後に決定ボタンを押すとトップメニューの「ジコク」が表示されます。

日常点検とお手入れ

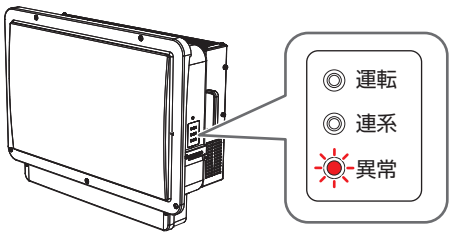
故障や事故を防ぐために、日常点検とお手入れは必ず行ってください。日常点検は月 1 回程度行うことをお勧めします。また、地震の後は必ず点検を行ってください。
- 特定負荷用分電盤の点検・お手入れについては、特定負荷用分電盤に付属している取扱説明書をご確認ください。

パワーコンディショナ

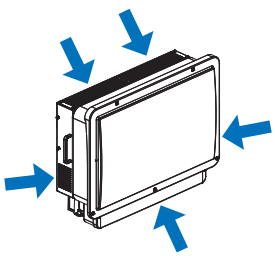
◆日常点検のしかた

ご使用の際に、以下の項目を点検してください。
異常を発見した場合は、システムの運転を停止してください。(⇨ 34) 停止後に、蓄電システム用ブレーカを「オフ」にし、お買い上げの販売店へ連絡してください。

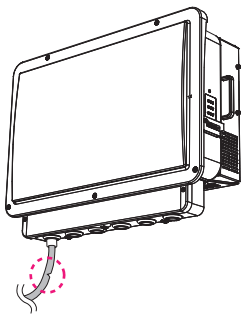
- **パワーコンディショナの異常ランプが点灯または点滅していませんか？**
  点灯または点滅している場合は 51 ページをお読みください。



- **通常と異なる音やにおいがしていませんか？**
  運転時、充放電電力が大きくなると、動作音が大きくなりますが、異常ではありません。
- **表面がさびたり、腐食していませんか？**
  柔らかい布でからぶきしてください。
- **通風口が目詰まりしていませんか？**
  詰まっていたら異物を取り除いてください。



- **配管に傷はありませんか？**
  （壁内へ隠ぺい配線されていて配管がない場合もあります）



◆お手入れのしかた

- お手入れは、安全のためシステムの運転を停止して行ってください。(⇨ 34)
- ほこりを取り除き、柔らかい布で全体をからぶきしてください。

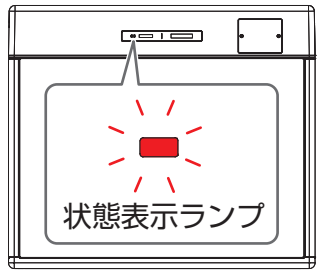
蓄電池ユニット

◆日常点検のしかた

ご使用の際に、以下の項目を点検してください。

下記以外の異常を発見した場合は、お買い上げの販売店へ連絡してください。

- **状態表示ランプが赤色に点灯または点滅していませんか？**
  赤色に点灯または点滅している場合は 52 ページをお読みください。
- **通常と異なる音やにおいがしていませんか？**
  通常と異なる音やにおいがしている場合は、システムの運転を停止し(⇨ 34)、お買い上げの販売店へ連絡してください。
- **表面がさびたり、腐食していませんか？**

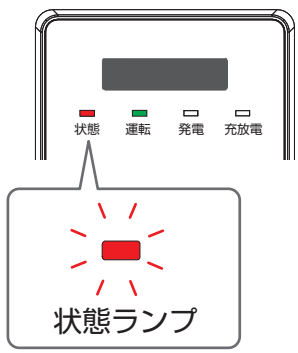


◆お手入れのしかた

- お手入れは、安全のためシステムの運転を停止して行ってください。(⇨ 34)
- ほこりを取り除き、柔らかい布で全体をからぶきしてください。

ゲートウェイ

- **状態ランプが赤色に点灯または点滅していませんか？**
  赤色に点灯、または点滅している場合は 52 ページをお読みください。



蓄電池診断について

本システムは蓄電池容量の確認ため、年１回（６月）自動で蓄電池診断を行います。蓄電池診断時は、蓄電動作モードに関わらず蓄電残量が 0%になるまで放電を行い、その後 100%まで充電を行います。蓄電池診断終了後は、通常の運転動作に戻ります。

チクデンドウサモード → チクデンチシンダンチュウ

- 蓄電池診断中はお客様の意図しない動作をすることがあります。
- １日で蓄電池診断が終了しないことがあります。

故障かな!?と思ったら

システムの動作に不具合が生じたときや、通常時と異なる表示が出たときは、次の内容を確認し適切に対処してください。

下記に記載のない異常が発生している場合や、対処をしても直らない場合は、システムの運転を停止してください。(⇨ 34) 停止後に、蓄電システム用ブレーカを「オフ」にし、お買い上げの販売店へ連絡してください。

◆パワーコンディショナ

症状	原因と対処方法
パワーコンディショナの異常ランプが点灯または点滅している。	エラーが発生しています。 ● ゲートウェイの表示部でエラーコードを確認してください。(⇨ 54)
パワーコンディショナの運転ランプが3回点滅を繰り返す。	● 温度上昇抑制が働いています。温度上昇抑制とは、パワーコンディショナ内部の温度が高くなったときに、パワーコンディショナの出力を抑える動作です。温度が正常値に戻ると、点滅しなくなります。 温度上昇抑制が頻繁に働く場合は、お買い上げの販売店へ連絡してください。
パワーコンディショナの運転ランプが4回点滅を繰り返す。	● 蓄電池ユニットの温度抑制が働いています。蓄電池ユニットの温度抑制とは、外気温が高い場合に、蓄電池ユニットの充放電を抑える動作です。温度が正常に戻ると点滅しなくなります。 蓄電池ユニットの周囲環境を確認し、温度抑制が頻繁に働く場合は、お買い上げの販売店へ連絡してください。
パワーコンディショナの連系ランプが点灯しない。	● 復電後に連系運転に切り替わっているか確認してください。(⇨ 33)
パワーコンディショナの本体表面温度が高温になっている。	● パワーコンディショナの本体表面温度は最高約85℃まで上がりますが、異常ではありません。
「キーン」という高い音（モスキート音）や「ジー」・「キー」・「ピー」という音がする。	● 異常ではありませんが、音が大きくて気になるようでしたら、お買い上げの販売店へ連絡してください。

◆蓄電池ユニット

症状	原因と対処方法
蓄電池ユニットの状態表示ランプが赤色に点灯または点滅している。	●**（赤色点灯している場合）** 蓄電池ユニットが故障している可能性があります。お買い上げの販売店へ連絡してください。 ●**（赤色点滅している場合）** –異常が発生しています。ゲートウェイの表示部でエラーコードを確認してください。(⇨ 54) –エラーコードが表示されていない場合は一過性の異常です。（頻繁に点滅する場合はお買い上げの販売店へ連絡してください）
蓄電池ユニットから「カチッ」という音がする。	●充電開始時刻に自己点検のため、蓄電池ユニットから「カチッ」という音がしますが、異常ではありません。それ以外で音がする場合は、ゲートウェイの表示部で　エラーコードを確認のうえ、お買い上げの販売店へ連絡してください。

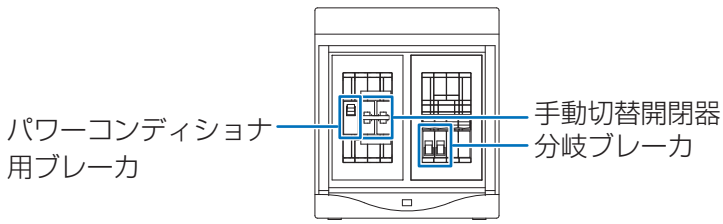
◆ゲートウェイ

症状	原因と対処方法
●**ゲートウェイの状態ランプが赤色点灯または点滅している。** ●**ゲートウェイの表示部にエラー画面が表示されている。** ●**ブザー音（警告音）がなっている。**	エラーが発生しています。 ●ゲートウェイの表示部でエラーコードを確認してください。(⇨ 54) ●エラーコードの見かたについては 54 ページをお読みください。 ●ブザー音（警告音）は操作ボタンのいずれかを押すと止まります。
システムの運転 / 停止の切り替えの操作で、運転を開始しない。	●パワーコンディショナ本体の運転許可スイッチが「オン」になっているか確認してください。(⇨ 16) ●運転を開始するのに最大 5 分かかることがありますが、異常ではありません。
ソフトウェア自動更新サービスや遠隔モニタリングサービスを有効に設定するとNGが表示される。	●ネットワーク接続設定内容とネットワーク接続状態を確認してください。 –LAN ポート付きルータがインターネットと接続され、通信できることを確認してください。 –ネットワーク接続を手動設定している場合、デフォルトゲートウェイと DNS サーバを正しく設定してください。（⇨ 46） ●メインメニューで日時が正しいか確認してください。日時が間違っている場合は正しく設定してください。（⇨ 48）
運転切替の実行画面で「ウンテンキリカエ　タイショウナシ」が表示される。	パワーコンディショナ本体の運転許可スイッチが「オフ」になっています。 パワーコンディショナ本体の運転許可スイッチを「オン」にしてください。(⇨ 16)
●**表示部に「ウンテンジョウタイシュドウフッキマチ」と表示されている。** ●**運転ランプが緑色点滅している。**	パワーコンディショナが手動復帰待ちの状態です。 システムの運転を再開してください。(⇨ 34)

◆特定負荷用分電盤

症状	原因と対処方法
特定負荷用分電盤に接続した電気製品が動かない。	●（停電時） –特定負荷用分電盤に接続している機器の一部を停止し、消費電力を少なくしてください。(⇨ 32)「テイデンジモード」が「タイヨウコウキュデン」もしくは「ジドウ」に設定されていて (⇨ 43)、太陽電池の発電電力で蓄電池を充電している場合は、「テイデンジジュウデン」の設定を小さくしてください。(⇨ 44) –特定負荷用分電盤のパワーコンディショナ用ブレーカまたは分岐ブレーカが「オフ」になっていないか確認してください。※ –特定負荷用分電盤の手動切替開閉器が「蓄電システム」側に切り替わっているか確認してください。 ●（通常時） –特定負荷用分電盤に接続している機器の一部を停止し、消費電力を少なくしてください。 –特定負荷用分電盤のパワーコンディショナ用ブレーカまたは分岐ブレーカが「オフ」になっていないか確認してください。※

※ 特定負荷用分電盤の一例



◆その他

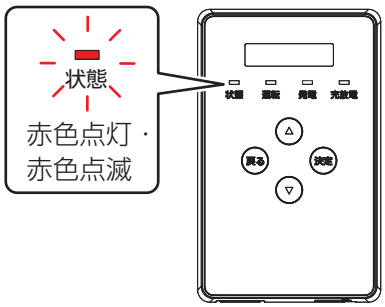
症状	原因と対処方法
主分電盤の主幹漏電ブレーカが頻繁に動作する。	●電気製品、パワーコンディショナ、または蓄電システム用ブレーカの不具合の可能性があります。システムの運転を停止してください。(⇨ 34) 停止後に、蓄電システム用ブレーカを「オフ」にし、お買い上げの販売店へ連絡してください。 ●「ケイヤクアンペア」の設定が間違っている可能性があります。正しく設定されているか確認してください。(⇨ 43)
契約ブレーカが頻繁に動作する。	●「ケイヤクアンペア」の設定が間違っている可能性があります。正しく設定されているか確認してください。(⇨ 43)
ネットワークの起動や設定変更に失敗する。	●ネットワーク機器の状態により、正常に処理できない可能性があります。しばらくたってから、再度実行してください。
ネットワーク接続を手動設定するとき、設定 NG となる。	●サブネットマスクやデフォルトゲートウェイを確認して、正しく設定してください。
充電終了時刻になっても電池の「ザンリョウ」が 100% にならない（充電しない）ことが頻繁にある。	●充電時間帯に消費電力の大きな負荷が動作していることで、充電できていない可能性があります。消費電力に対して電力会社と契約しているアンペア数が十分か確認してください。 ●「ケイヤクアンペア」の設定が間違っている可能性があります。正しく設定されているか確認してください。(⇨ 43)

異常が発生したら…

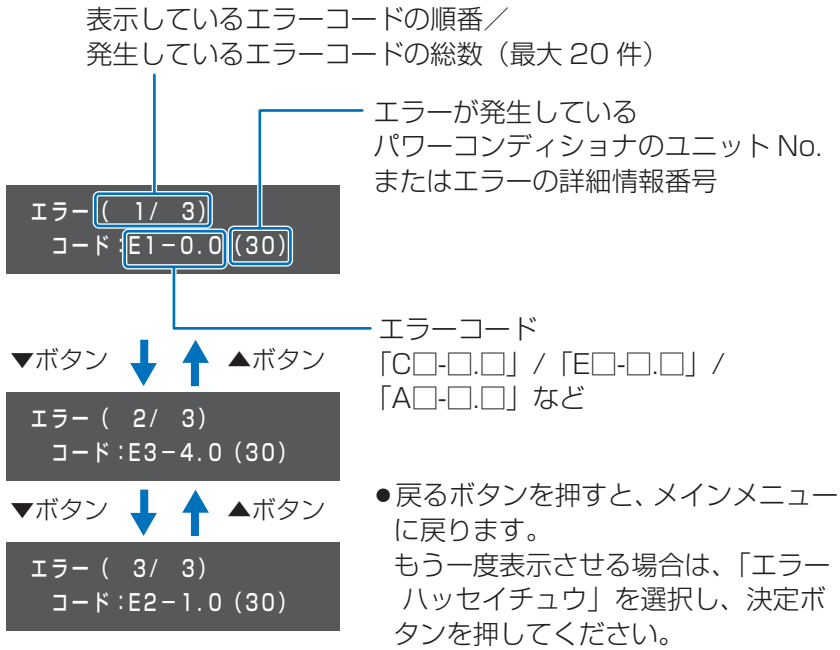
異常が発生すると、ゲートウェイの状態ランプ赤色点灯または赤色点滅し、表示部にエラーコードが表示されます。
エラーの内容を確認し正しく処置してください。

- 発生しているエラーが複数個ある場合は、▲/▼ボタンで表示を切り替えることができます。
- エラーの内容によっては、システムの運転が停止します。

エラー発生時



発生中エラー画面



- 戻るボタンを押すと、メインメニューに戻ります。
  もう一度表示させる場合は、「エラーハッセイチュウ」を選択し、決定ボタンを押してください。

エラーコード一覧

販売店にご相談いただく際は、エラーコードをお伝えください。

表示部	原因	処置
A1-5.0	特定負荷用コンセントの使用電力が、現在出力可能な量を超えています。	特定負荷用コンセントに接続している機器を減らすなど、電力の使用量を減らしてください。
A1-5.1		
A1-6.1	運転停止入力により、パワーコンディショナを運転停止しています。	１日に３回以上表示される場合は、販売店に相談してください。
A3-0.0	パワーコンディショナが異常な状態を検出しています。	販売店に相談してください。
A6-0.0	自立入力がありません。	太陽光発電を自立運転させるか、太陽光発電システムを併設していない場合は、「テイデンジモード」を「チクデンチキュウデン」に設定してください。

表示部	原因	処置
E1-0.0	商用系統の停電を検出しています。	１日に３回以上表示される場合は、販売店に相談してください。
E1-1.0	商用系統の電圧上昇を検出しました。	
E1-2.0	商用系統の電圧低下を検出しました。	
E1-3.0	商用系統の周波数上昇を検出しました。	
E1-4.0	商用系統の周波数低下を検出しました。	
E1-5.0	商用系統の異常を検出しました。	
E1-6.0		
E1-7.0	パワーコンディショナが異常な状態を検出しています。	
E1-7.1		
E1-8.0		
E2-1.7	パワーコンディショナが異常な状態を検出しています。	販売店に相談してください。
E2-3.7		
E2-5.7		
E3-1.7		
E3-2.0		
E3-3.0		
E3-4.7	パワーコンディショナの内部温度が高くなっています。	パワーコンディショナの周囲に物が置かれていないか確認してください。連日復帰しない場合は、販売店に相談してください。
E3-5.0	ご家庭の負荷が急に変化したため、逆電力検出機能が働きました。	１日に３回以上表示される場合は、販売店に相談してください。
E3-5.2	主幹電流センサの取り付け状態の異常を検出しています。	販売店に相談してください。 太陽光発電システムを併設している場合は、併設している太陽光発電システムを一度停止させてください。エラーが解消され、本システムのパワーコンディショナが連系運転した後に、太陽光発電システムの運転を再開してください。 蓄電システムを併設している場合は、併設している蓄電システムの蓄電動作モードを「待機」に設定してください。エラーが解消され、本システムのパワーコンディショナが連系運転した後に、併設している蓄電システムの蓄電動作モードを元の設定に戻してください。

表示部	原因	処置
E4-1.7	パワーコンディショナが異常な状態を検出しています。	販売店に相談してください。
E4-2.0		
E4-3.0		
E4-3.7		
E4-4.0		
E4-4.1		
E4-4.7		
E4-5.0		
E4-5.1		
E4-5.7		
E4-6.0		
E4-6.1		
E4-6.7		
E4-7.0		
E4-7.1		
E4-7.7		
E4-9.7		
E5-1.0		
E5-1.1		
E5-1.2		
E5-1.5		
E5-1.6		
E5-1.7		
E5-1.8		
E5-1.9		
E5-2.1	パワーコンディショナ内部の通信異常を検出しています。	
E5-2.2		
E5-2.3		
E5-2.8		
E5-3.0	パワーコンディショナが異常な状態を検出しています。	
E5-3.1		
E5-3.8		

表示部	原因	処置
E5-5.7 E5-6.0 E5-6.7	パワーコンディショナが異常な状態を検出しています。	販売店に相談してください。
E5-7.5	ゲートウェイとの通信に異常が発生しています。	1日に3回以上表示される場合は、販売店に相談してください。
E6-1.0	自立入力の電圧が上昇しています。	継続的に発生する場合は、ゲートウェイを操作して、運転を停止し（⇨ 34)、「テイデンジモード」を「チクデンチキュウデン」に設定したあとに (⇨ 43)、運転を再開してください。(⇨ 34)
E6-2.0	自立入力の電圧が低下しています。	
E6-3.0	自立入力の周波数が上昇しています。	
E6-4.0	自立入力の周波数が低下しています。	
E6-5.0	自立入力の状態が安定せず、正常に充電できません。	継続的に発生する場合は、ゲートウェイを操作して、運転を停止し（⇨ 34)、「テイデンジジュウデンデンリョク」を「0W」に設定するか (⇨ 44)、「テイデンジモード」を「チクデンチキュウデン」に設定したあとに (⇨ 43)、運転を再開してください。(⇨ 34) （太陽光発電の発電電力を蓄電池に充電させずに運転してください。）
P1-1.1 P1-1.2 P1-1.7 P1-1.8 P1-2.0 P1-2.1 P1-2.2 P1-2.3	蓄電池ユニットが内部の異常を検出しています。	販売店に相談してください。
P1-3.0 ※ P1-3.2 ※	蓄電池ユニットが高温状態になっています。	周囲に熱源となるものがあれば、速やかに取り除いて、販売店に相談してください。
P1-3.3	蓄電池ユニットが低温状態になっています。	販売店に相談してください。
P1-4.0	蓄電池ユニットが蓄電残量（SOC）の異常な低下を検出しています。	
P1-5.0 P1-5.2	蓄電池ユニットが内部の異常を検出しています。	

※ 発生時にゲートウェイからブザー音（警告音）が鳴ります。

表示部	原因	処置
P1-6.0	パワーコンディショナと蓄電池ユニットとの通信異常を検出しています。	販売店に相談してください。
P1-6.4	システムが異常を検出しています。	
P1-6.6	蓄電池ユニットが内部の異常を検出しています。	
P1-6.7		
P1-6.8		
P1-8.1	システムが異常を検出しています。	
P1-8.2		
P1-8.3	蓄電池ユニットが内部の異常を検出しています。	
P1-8.4		
P1-8.7		
P1-8.8		
P2-1.0	パワーコンディショナと蓄電池ユニットとの通信異常を検出しています。	
P2-1.1		
P2-1.3		
P2-1.4		
P2-1.7		
P2-1.9		
P2-2.0	パワーコンディショナと蓄電池ユニット間配線の異常を検出しています。	
P2-2.1		
P8-3.1	蓄電池ユニットが高温状態になっています。	周囲に熱源となるものがあれば、すみやかに取り除いてください。熱源を取り除いたうえで、数日に渡って継続的に発生する場合は、販売店に相談してください。
P8-3.2	蓄電池ユニットが低温状態になっています。	蓄電池の周囲温度が製品の使用周囲温度範囲に入っているか確認してください。周囲温度に問題なく、数日に渡って継続的に発生する場合は、販売店に相談してください。
P8-4.1	蓄電池の寿命です。	販売店に相談してください。
P8-4.2	蓄電池の寿命が近づいています。	
P8-7.0	蓄電池ユニットが内部の異常を検出しています。	

表示部	原因	処置
C1-1.0	時刻異常が発生しています。	ゲートウェイの電源が 3 日間以上「オフ」になった場合、時計がリセットされます。日時を設定して異常を解消してください。(⇨ 48) 解消しない場合は、販売店に相談してください。
C1-2.0	本製品の内部時計の同期に失敗しました。	連日復帰しない場合は、販売店に相談してください。
C1-4.0	パワーコンディショナの接続台数が設定値と一致していません。	販売店に相談してください。
C1-A.0	ゲートウェイに登録されているパワーコンディショナと接続しているパワーコンディショナが一致していない	
C2-1.0	ゲートウェイの異常です。	
C2-2.0		
C2-3.0	本製品の使用期限が近づいています。	
C3-1.0	ソフトウェア更新に失敗しました。	複数回発生している場合は、販売店に相談してください。
C3-2.0	システム障害が発生しました。	連日発生してる場合は、ゲートウェイの故障の可能性があります。お買い上げの販売店へ連絡してください
C3-3.0	ゲートウェイの異常です。	販売店に相談してください。
C3-5.0	時計異常が発生しています。	
C3-6.0	設定データが不正です。	
C3-8.0	パワーコンディショナのソフトウェア更新に失敗しました。	再度、ソフトウェア更新を行ってください。復旧しない場合は、販売店に相談してください。
C3-9.0	パワーコンディショナのソフトウェアが正常起動しません。	
C4-3.0	ゲートウェイの異常です。	販売店に相談してください。
C6-6.0	システム障害が発生しました。	１日に３回以上発生している場合は、販売店に相談してください。
C6-B.0	通信異常が発生しています。	
C6-D.0	通信異常が発生しています。	販売店に相談してください。

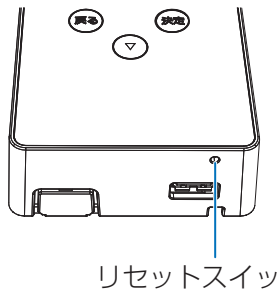
表示部	原因	処置
C7-1.0	ソフト更新サーバとの通信ができません。	インターネットに接続していない場合、このエラーコードが表示されます。 インターネットに接続している場合、ルータとの接続経路を確認ください。(⇨ 27) 異常のない場合は、販売店に相談してください。 ソフトウェア自動更新サービスは、ソフト更新サーバとの接続のためインターネット接続が必要です。
C7-2.0		ゲートウェイと LAN ポート付きルータの接続状態を確認してください。 ルータからインターネットへの接続を確認してください。 プロバイダで障害が発生していないか確認してください。
C7-3.0	ソフト更新サーバ通信部の異常です。	販売店に相談してください。
C7-4.0	ソフト更新サーバが異常です。	連日復帰しない場合は、販売店に相談してください。
C7-9.0	電力サーバとの通信ができません。	
C7-A.0	電力サーバ通信部の異常です。	販売店に相談してください。
C7-B.0	電力サーバが異常です。	連日復帰しない場合は、販売店に相談してください。
C7-C.0	電力サーバとの通信ができません。	ルータとの接続経路を確認してください。(⇨ 27) 異常のない場合は、販売店に相談してください。
C8-1.0	遠隔モニタサーバとの通信ができません。	連日復帰しない場合は、販売店に相談してください。
C8-2.0	遠隔モニタサーバ通信部の異常です。	販売店に相談してください。
C8-3.0	遠隔モニタサーバが異常です。	連日復帰しない場合は、販売店に相談してください。

表示部	原因	処置
C8-4.0	遠隔モニタサーバとの通信ができません。	ルータとの接続経路を確認してください。(⇨ 27) 異常のない場合は、販売店に相談してください。
C8-5.0	遠隔モニタサーバとの通信ができません。	連日復帰しない場合は、販売店に相談してください。
C8-6.0	遠隔モニタサーバ通信部の異常です。	販売店に相談してください。
C8-7.0	遠隔モニタサーバが異常です。	連日復帰しない場合は、販売店に相談してください。
C8-8.0	NTP サーバとの通信ができません	ルータとの接続経路を確認ください。(⇨ 27) 異常のない場合は、販売店に相談してください。
C8-9.0	NTP サーバとの通信ができません	連日復帰しない場合は、販売店に相談してください。
C8-A.0	NTP サーバ通信部の異常です。	販売店に相談してください。
C8-B.0	NTP サーバが異常です。	連日復帰しない場合は、販売店に相談してください。
C9-1.0	蓄電残量が低下しています。	充電を行ってください。充電を行わない場合、機器保護のためシステムを停止します。
C9-2.0	パワーコンディショナ運転許可のスイッチが「オフ」になっています。	パワーコンディショナの運転許可スイッチを「オン」にしてから、ゲートウェイで運転開始の操作をしてください。(⇨ 34)
C9-3.0	蓄電残量が SOC を下回っています	蓄電残量が放電可能な最低値を下回ったため、放電ができません。充電を行ってください。

ゲートウェイを再起動する

ゲートウェイに異常が発生し、再起動の必要がある場合に、操作してください。
再起動しても、設定や履歴などのデータには影響はありません。

ゲートウェイ底面のリセットスイッチを、ボールペンなどの先の細いもので 5 秒以上押す

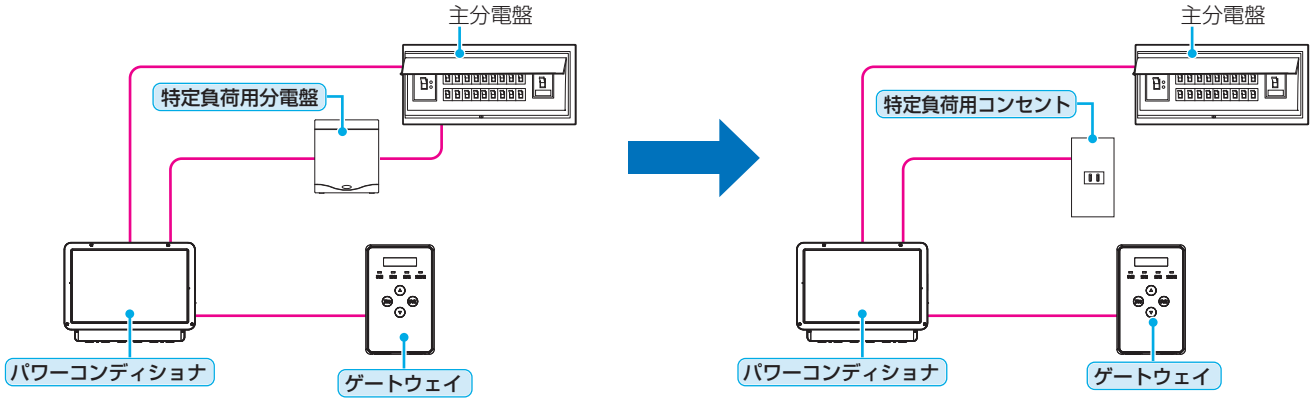


特定負荷用分電盤を使用しないシステムについて

特定負荷用分電盤を含まないシステムの場合は下記をお読みください。

◆システム構成について

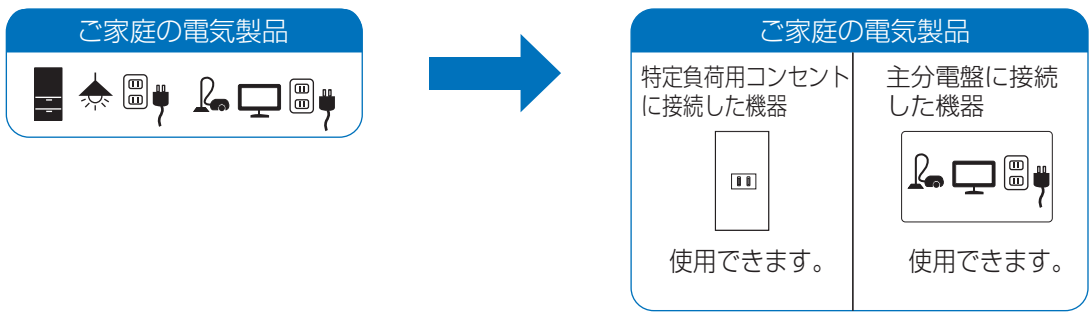
「システム構成と各機器の働き」(⇨ 14) のパワーコンディショナと特定負荷用分電盤を下図に読み替えてください。



◆家庭内の電気の流れについて

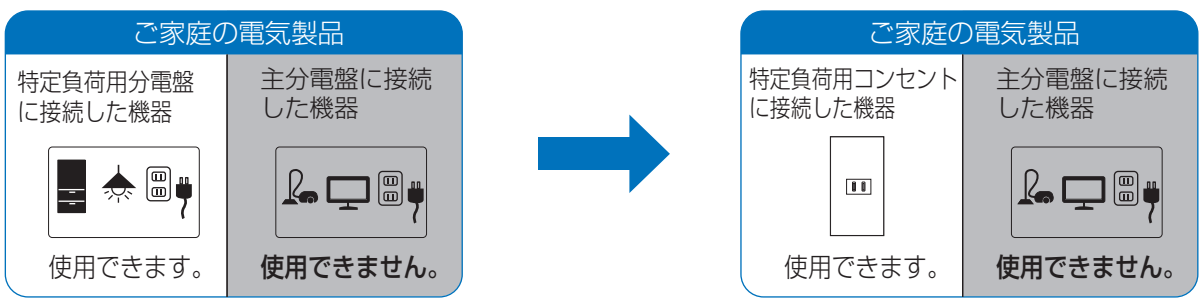
1 通常時は特定負荷用コンセントに接続した電気製品に電力が供給されます。

「連系運転について」(⇨ 19) の「ご家庭の電気製品」を下図に読み替えてください。



2 自立運転時は特定負荷用コンセントに接続した電気製品に電力が供給されます。

「自立運転について」(⇨ 23) に記載している「ご家庭の電気製品」を下図に読み替えてください。



その他

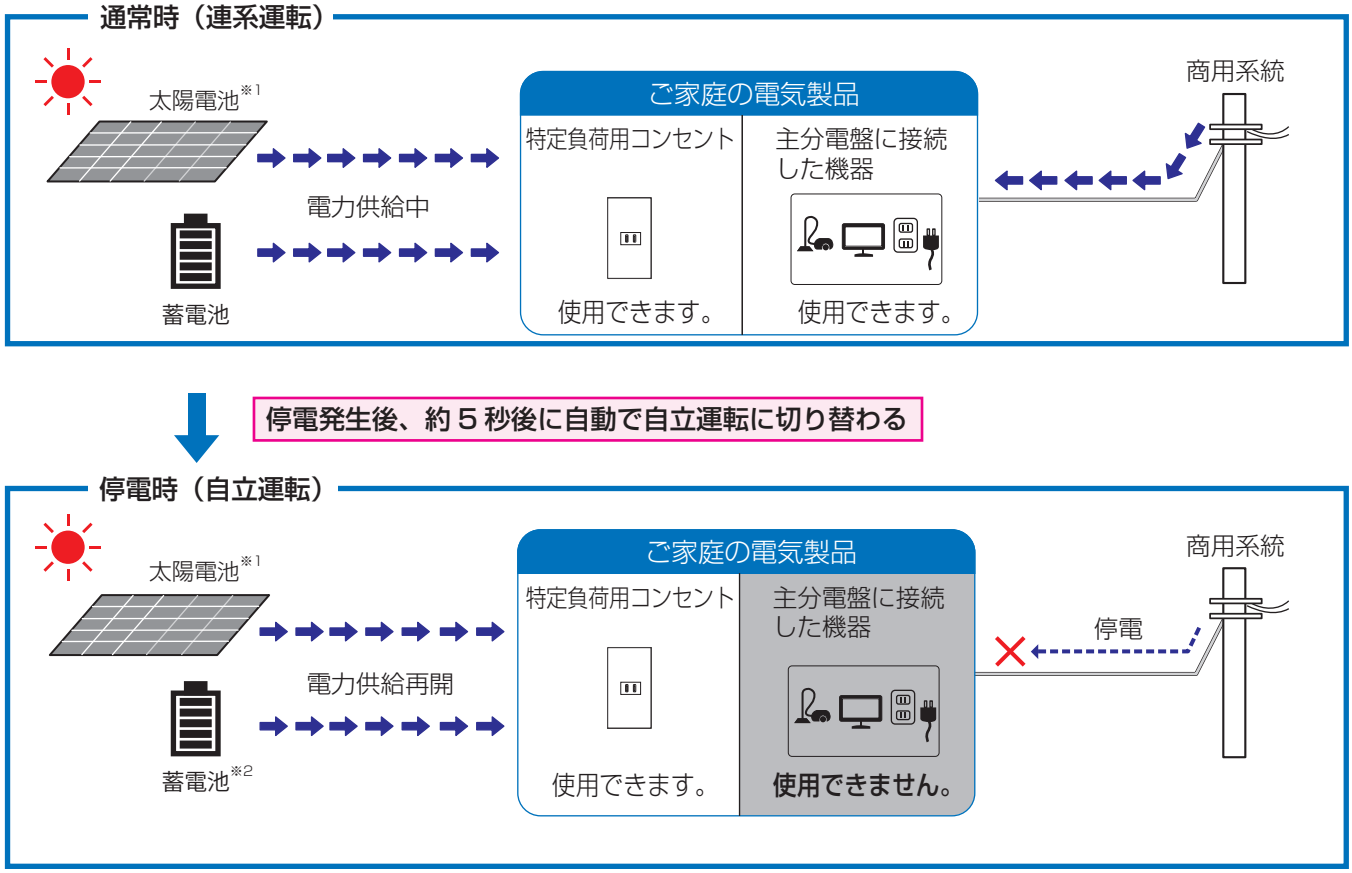
◆停電時の使い方（自立運転への自動切り替え）

停電などで電力会社からの電力供給が停止すると、自動で連系運転から自立運転に切り替わるため、お客様での切り替え操作は必要ありません。メインメニューの「ウンテンジョウタイ」で「ジリツ」と表示されているか確認してください。(⇨ 26)

自立運転に切り替わると、特定負荷用コンセントに蓄電池ユニットに蓄えた電力または太陽光発電の発電電力※1が供給されます。

- 停電発生後、特定負荷用コンセントに、使用したい電気製品を接続してください。
- **システム併設** ソーラーパワーコンディショナの自立運転への切り替えについては、ソーラーパワーコンディショナの取扱説明書をご確認ください。

（下記はイメージ図です）



※1. **システム併設** のみ

※2. 蓄電池ユニットの過放電防止のため、停電時は規定の蓄電残量である 10% になると放電を停止します。その後、蓄電残量が 20% 以上まで充電されると、放電を再開します。「SOC カゲン」（⇨ 39）を 10% 以下に設定すると、停電時に電気をすぐに使用できない場合があります。

- 特定負荷用コンセントに接続する電気製品の合計消費電力は、2000VA 以下（AC 100V で最大 20A 以下）になるようにしてください。
- 特定負荷用コンセントに接続した電気製品が動かない場合、特定負荷用コンセント用ブレーカがオフになっている可能性がありますので確認してください。

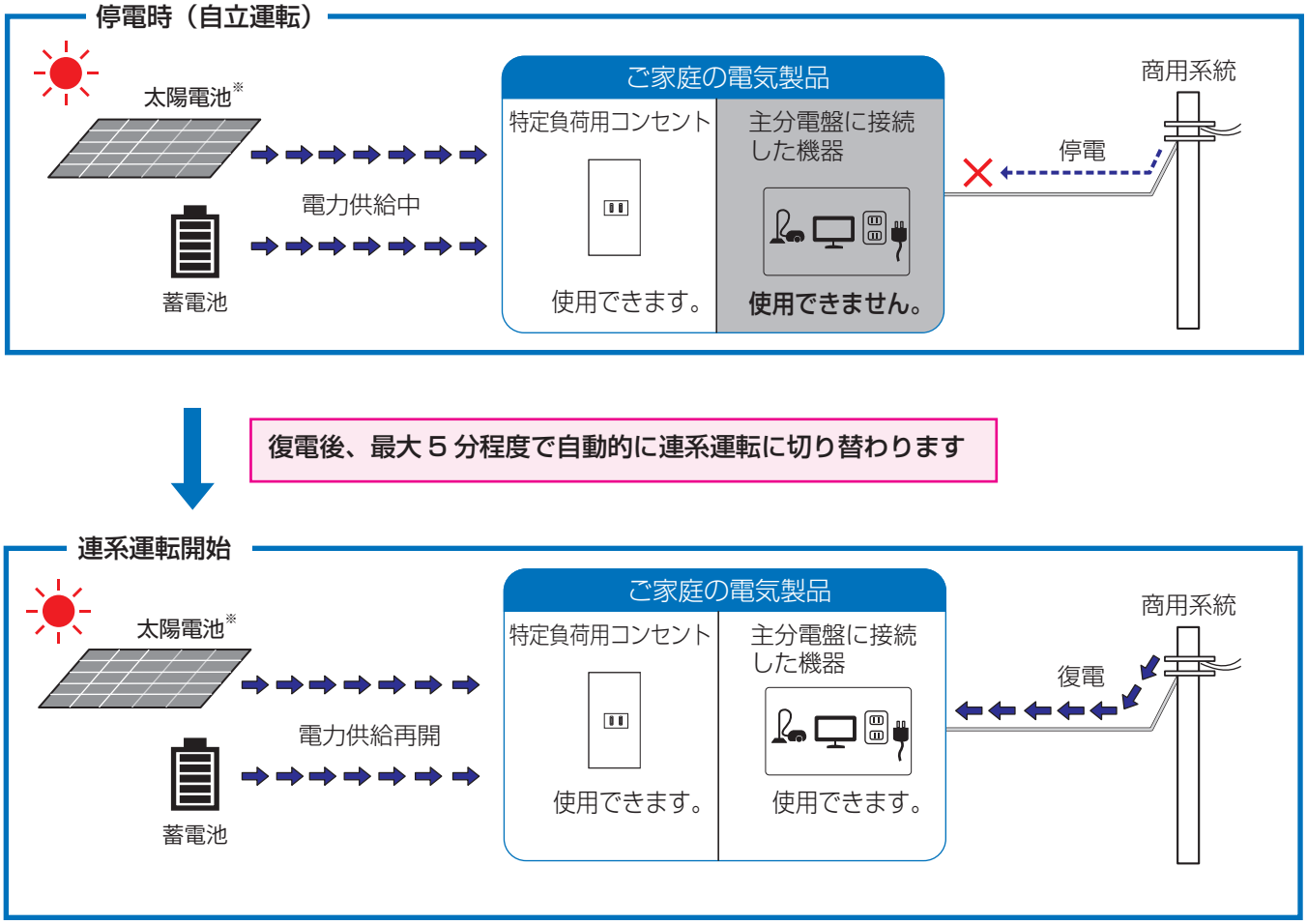
◆復電時には（連系運転への自動切り替え）

復電すると自動で自立運転から連系運転に切り替わるため、お客様での切り替え操作は必要ありません。

メインメニューの「ウンテンジョウタイ」で「レンケイ」と表示されているか確認してください。(⇨ 26)

- システム併設 ソーラーパワーコンディショナの連系運転への切り替えについては、ソーラーパワーコンディショナの取扱説明書をご確認ください。

（下記はイメージ図です）



※ システム併設 のみ

仕様

◆パワーコンディショナ

形式	KPAC-B25	KPAC-B25-S
タイプ	一般タイプ	重塩害対応タイプ
定格容量	2.5kW	
定格入出力電圧	DC192V	
入力電圧範囲	DC0 ～ 210V	
定格交流出力電圧	AC202 ± 12V	
定格周波数	50Hz/60Hz	
電力変換効率	95%以上（JIS C 8961 準拠）	
出力基本波力率	0.95 以上（入出力定格時にて）	
電流歪率	総合５%以下（入出力定格時にて）各次３%以下（入出力定格時にて）	
定格入出力電圧(自立)	AC101 ± 6V	
定格出力電力(自立)	2.0kVA（負荷力率 1）	
最大充電電力(自立)	1.5kW	
定格出力可能時間(自立)	100 分 (参考値)	
設置環境	海岸および汽水域から 500m を超える屋外設置	屋外設置
使用周囲温度	－ 20 ～+ 50 ℃（40 ℃定格出力）（ただし結露および氷結なきこと）	
使用周囲湿度	25 ～ 95%RH（ただし結露および氷結なきこと）	
インバータ方式	連系運転時：電圧型電流制御方式 自立運転時 (放電)：電圧型電圧制御方式 自立運転時 (充電)：電圧型電流制御方式	
スイッチング方式	PWM 方式	
絶縁方式	非絶縁トランスレス方式	
冷却方式	自然空冷方式	
出力相数	単相２線式（接続方式単相３線）	
保護機能	交流過電圧検出、交流不足電圧検出、周波数上昇検出、周波数低下検出、直流分検出、直流地絡検出、逆電力検出、単独運転検出 （１）周波数変化率検出（受動的方式） （２）ステップ注入付周波数フィードバック方式（能動的方式）	
外形寸法	幅 650mm ×高さ 493mm ×奥行き 222mm（取り付けベース板を含む）	
質量	約 29kg（配線・配管などを除く）	

◆蓄電池ユニット

形式	KP-BU42-A
公称電圧	DC192V
電池電圧範囲	DC120 ～ 210V
電気容量	1320Ah・セル
内蔵蓄電池	リチウムイオン
蓄電容量	4.2kWh（実効容量 4.0kWh）
充電回復時間	約 2.5 時間（25 ℃　満充電まで）
冷却方式	自然空冷
使用周囲温度	− 10 ～+ 40 ℃※ （ただし結露および氷結なきこと）
使用周囲湿度	25 ～ 95%RH （ただし結露および氷結なきこと）
設置場所	屋内
外形寸法	幅 530mm × 高さ 455mm × 奥行き 215mm
質量	約 62kg

※ 使用周囲温度範囲内であっても、蓄電池保護のため、充放電を抑制することがあります。

◆ゲートウェイ

形式	KP-GWBT-A
外形寸法	幅 75mm ×高さ 120mm ×奥行き 29.5mm
質量	約 140g
定格入力電圧	DC12V
最大消費電力	5.0W 以下
通信方式（有線 LAN）	100Base − TX
設置方法	壁面設置（隠ぺい配線、露出配線に対応）
使用温度範囲	− 20 ～ +50 ℃（結露および氷結なきこと）
使用湿度範囲	25 ～ 95%RH（結露および氷結なきこと）

ソフトウェアのライセンス情報

ソフトウェアのライセンス情報については、下記の WEB サイトからご確認ください。
https://www.omron.co.jp/energy-innovation/download/

保証とアフターサービスについて

保証について

保証に関する内容につきましては、お買い上げの販売店の条件によるものとさせていただいております。
詳しくは、お買い上げの販売店へ確認してください。

修理を依頼されるとき

ご連絡の際は、次の項目をお知らせください。

- 製造番号
  パワーコンディショナ、蓄電池ユニット：本体左側面のラベルに記載
  ゲートウェイ：本体底面のラベルに記載
- お買い上げ年月日
- ご住所、お名前、電話番号
- 故障内容、故障発生時の状況（天候や時間など）

製造番号	
お買い上げ年月日	年　　月　　日
ご住所	
お名前	
電話番号	（　　）　　－
故障内容・故障発生時の状況	

商品のお問い合わせは

商品・修理・トラブル・メンテナンス・別売品についてのお問い合わせは、お買い上げの販売店に相談してください。

店名	
住所	
電話番号	（　　）　　－
販売店押印欄	

オムロン ソーシアルソリューションズ株式会社
〒108-0075 東京都港区港南2-3-13 品川フロントビル7F

© OMRON Corporation All Rights Reserved